

学生確保の見通し等を記載した書類に係る添付資料

奈良県立医科大学大学院 看護学研究科
看護学専攻 博士後期課程

資 料 目 次

| | | |
|------|------------------------------------|----|
| 資料 1 | 奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）〈仮称〉 | |
| | 設置に係る入学意向に関するアンケート調査報告 | 3 |
| 資料 2 | 奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）〈仮称〉 | |
| | 設置に係る採用意向に関するアンケート調査報告 | 47 |

奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻
（博士後期課程）＜仮称＞設置に係る
入学意向に関するアンケート調査報告

令和5年3月

一般財団法人 日本開発構想研究所

<アンケート調査概要>

(1) 調査目的

令和6年4月に予定している奈良県立医科大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）の開設に向けて、奈良県立医科大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）への入学意向を把握することを目的とする。

(2) 調査対象者

| | 調査対象の種別 | 対象人数 | 調査方法 |
|---|--|---------------------|--|
| ① | 医療機関等(214施設)に勤務する看護職員 | 看護職員 584名 | 医療機関等の看護職員は送付先の病院等の看護管理者から手渡しでの配布。 |
| ② | 奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）の修了生及び同研究科専攻の在学生 | 修了生94名及び在学生17名の111名 | 奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）の修了生94名は個人宛に研究所から直接郵送。同研究科専攻の在学生17名は大学から手渡しでの配布。 |
| | 合計 | 695名 | |

(3) 調査方法

- ① 調査対象医療機関等214施設の看護管理者へ依頼し、博士後期課程に進学する可能性のある看護職員（修士の学位保有者や専門看護師等）に対し、アンケート用紙及び奈良県立医科大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）の概要を配布して、アンケート調査を実施した。回答用紙は一般財団法人日本開発構想研究所へ回答者から直接郵送（※奈良県立医科大学附属病院の看護職員については、同大学が看護管理者に依頼、回答用紙を回収し、大学から一般財団法人日本開発構想研究所へ郵送）。
- ② 調査対象の奈良県立医科大学大学院修士課程の修了生94名及び同大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）在学生17名へアンケート用紙及び奈良県立医科大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）の概要を送付又は配布（※在学生17名については大学から手渡しでの配布）し、アンケート調査を実施した。回答用紙は同大学大学院研究科専攻の修了生については一般財団法人日本開発構想研究所へ回答者から直接郵送。同大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程の在学生については、大学が回収し、研究所へ郵送。

①と②の結果、84人から有効回答を得た。集計結果より、奈良県立医科大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）への入学意向を分析した。

(4) 調査実施期間

令和5年1月～令和5年2月

(5) 有効回収率等

調査対象者数：695人

有効回答者数：84人

有効回収率：12.09%（有効回答84件 ÷ 調査対象695件）

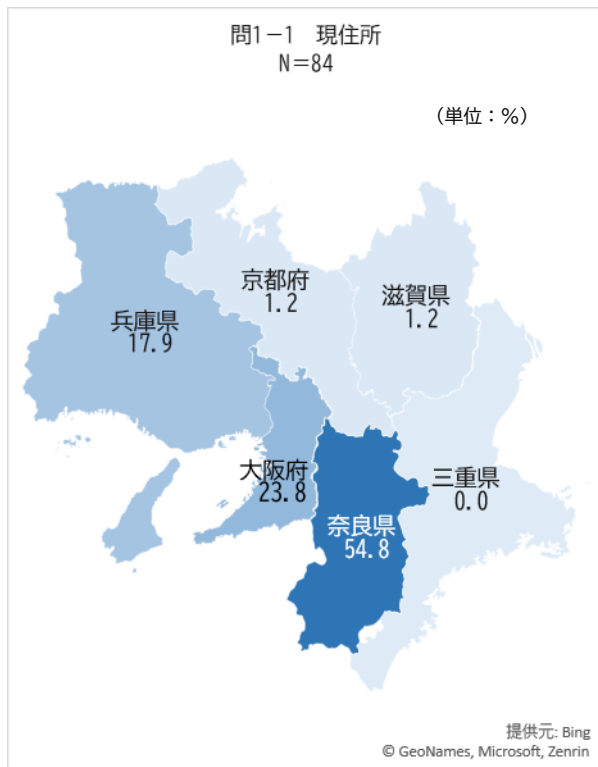
※設置を構想している奈良県立医科大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）は仮称であるが、本文中ではその旨の表示を省略した。

<アンケート調査結果>

(1) 現住所

問1-1 あなたのお住まい（現住所）について、次の中から1つお選びください。

- 回答者（84人）の現住所について、「奈良県」が46人（54.8%）と最も多く、次いで「大阪府」が20人（23.8%）、「兵庫県」が15人（17.9%）、「京都府」、「滋賀県」、「その他」がそれぞれ1人（1.2%）の順になっている。「奈良県」、「大阪府」、「兵庫県」で81人（96.5%）。



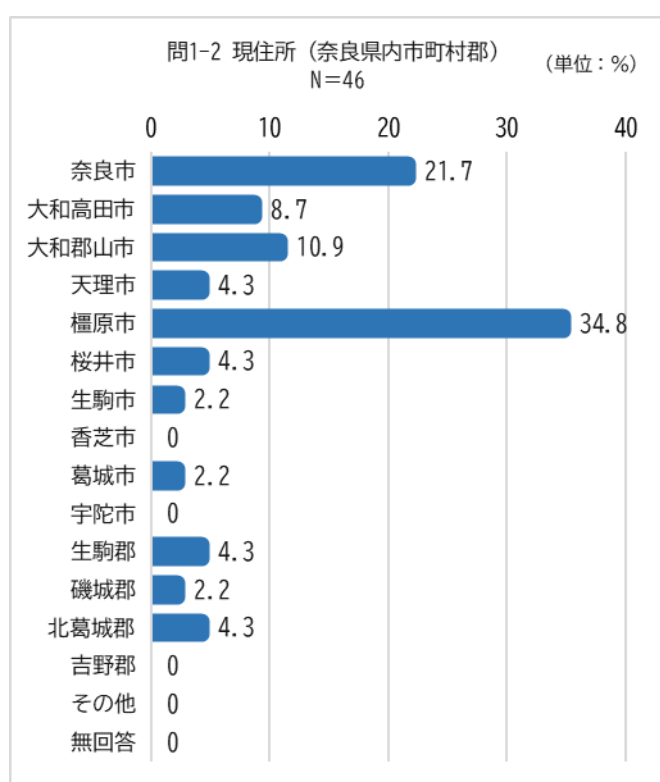
| | 人数 | % |
|-------|----|------|
| 1 奈良県 | 46 | 54.8 |
| 2 京都府 | 1 | 1.2 |
| 3 大阪府 | 20 | 23.8 |
| 4 兵庫県 | 15 | 17.9 |
| 5 滋賀県 | 1 | 1.2 |
| 6 三重県 | 0 | 0.0 |
| 7 その他 | 1 | 1.2 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 84 | 100 |

(「7 その他」の回答)

回答なし

問1-2 奈良県にお住まいの方は県内の市町村郡の番号を1つお選びください。

■ 問1-1 現住所において、「奈良県」を選択した回答者（46人）の県内市町村郡別の現住所をみると、「橿原市」が16人（34.8%）と最も多く、次いで「奈良市」が10人（21.7%）、「大和郡山市」が5人（10.9%）、「大和高田市」が4人（8.7%）、「天理市」、「桜井市」、「生駒郡」、「北葛城郡」がそれぞれ2人（4.3%）、「生駒市」、「葛城市」、「磯城郡」がそれぞれ1人（2.2%）の順になっている。「橿原市」、「奈良市」、「大和郡山市」、「大和高田市」で35人（76.1%）。



| | 人数 | % |
|---------|----|------|
| 1 奈良市 | 10 | 21.7 |
| 2 大和高田市 | 4 | 8.7 |
| 3 大和郡山市 | 5 | 10.9 |
| 4 天理市 | 2 | 4.3 |
| 5 橿原市 | 16 | 34.8 |
| 6 桜井市 | 2 | 4.3 |
| 7 生駒市 | 1 | 2.2 |
| 8 香芝市 | 0 | 0.0 |
| 9 葛城市 | 1 | 2.2 |
| 10 宇陀市 | 0 | 0.0 |
| 11 生駒郡 | 2 | 4.3 |
| 12 磯城郡 | 1 | 2.2 |
| 13 北葛城郡 | 2 | 4.3 |
| 14 吉野郡 | 0 | 0.0 |
| 15 その他 | 0 | 0.0 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 46 | 100 |

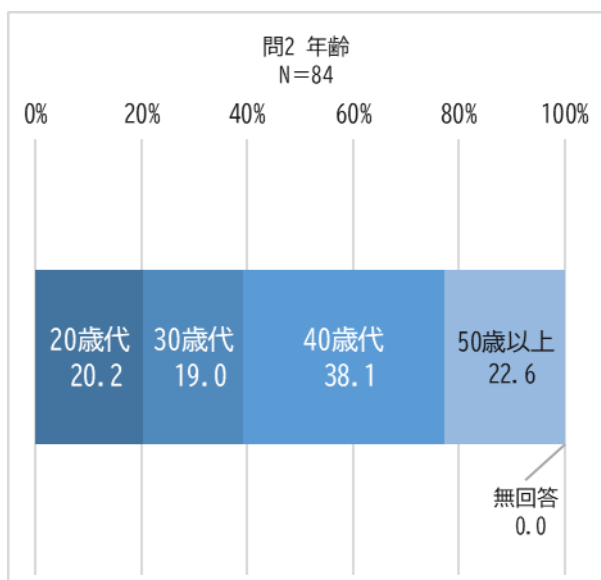
（「15 その他」の回答）

回答なし

(2) 年齢

問2 あなたの年齢をお選びください。

- 年齢について、回答者（84人）のうち、「40歳代」が32人（38.1%）と最も多い。次いで「50歳以上」が19人（22.6%）、「20歳代」が17人（20.2%）、「30歳代」が16人（19.0%）の順になっている。「50歳以上」、「20歳代」、「30歳代」ではほぼ同割合。

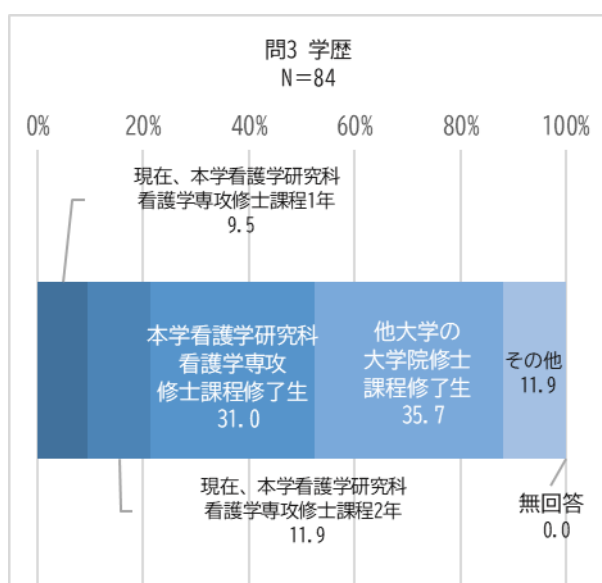


| | 人数 | % |
|---------|----|------|
| 1 20歳代 | 17 | 20.2 |
| 2 30歳代 | 16 | 19.0 |
| 3 40歳代 | 32 | 38.1 |
| 4 50歳以上 | 19 | 22.6 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 84 | 100 |

(3) 学歴

問3 あなたの学歴をお選びください。

- 学歴について、回答者（84人）のうち、「他大学の大学院修士課程修了生」が30人（35.7%）と最も多く、次いで「本学看護学研究科看護学専攻修士課程修了生」が26人（31.0%）、「現在、本学看護学研究科看護学専攻修士課程2年」、「その他」が10人（11.9%）、「現在、本学看護学研究科看護学専攻修士課程1年」8人（9.5%）の順になっている。奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）の在学学生及び修了生は44人（52.4%）。



| | 人数 | % |
|------------------------|----|------|
| 現在、本学看護学研究科看護学専攻修士課程1年 | 8 | 9.5 |
| 現在、本学看護学研究科看護学専攻修士課程2年 | 10 | 11.9 |
| 本学看護学研究科看護学専攻修士課程修了生 | 26 | 31.0 |
| 他大学の大学院修士課程修了生 | 30 | 35.7 |
| その他 | 10 | 11.9 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 84 | 100 |

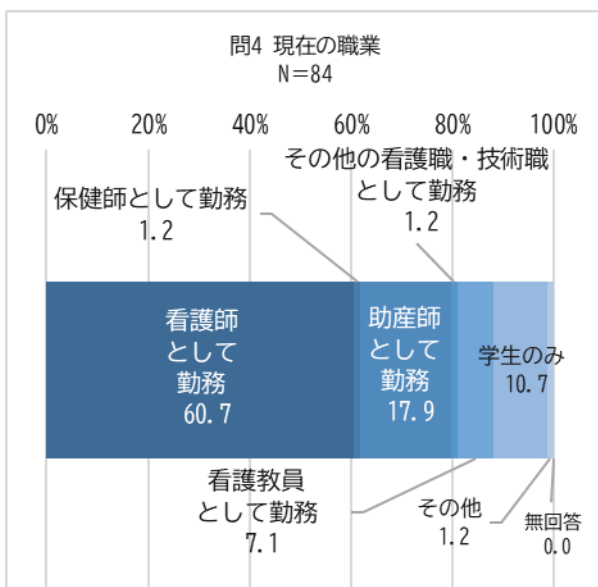
(「5 その他」の回答)

| | | | | |
|------------------|------------|------------------------|--------|---------------|
| 本学医学研究科博士課程在学中1年 | 本学修士課程1年中退 | 奈良県立医科大学大学院医学研究科修士課程修了 | 大学看護学科 | 本学医学部博士後期課程2年 |
|------------------|------------|------------------------|--------|---------------|

(4) 現在の職業

問4 あなたの現在の職業をお選びください。

- 現在の職業について、回答者（84人）のうち、「看護師として勤務」が51人（60.7%）と最も多い。次いで「助産師として勤務」が15人（17.9%）、「学生のみ」9人（10.7%）、「看護教員として勤務」が6人（7.1%）、「保健師として勤務」、「その他の看護職・技術職として勤務」、「その他」が1人（1.2%）の順になっている。現在、病院・施設等に勤務し、看護職に関わる有職者は74人（88.1%）。



| | 人数 | % |
|--------------------|----|------|
| 1 看護師として勤務 | 51 | 60.7 |
| 2 保健師として勤務 | 1 | 1.2 |
| 3 助産師として勤務 | 15 | 17.9 |
| 4 その他の看護職・技術職として勤務 | 1 | 1.2 |
| 5 看護教員として勤務 | 6 | 7.1 |
| 6 学生のみ | 9 | 10.7 |
| 7 その他 | 1 | 1.2 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 84 | 100 |

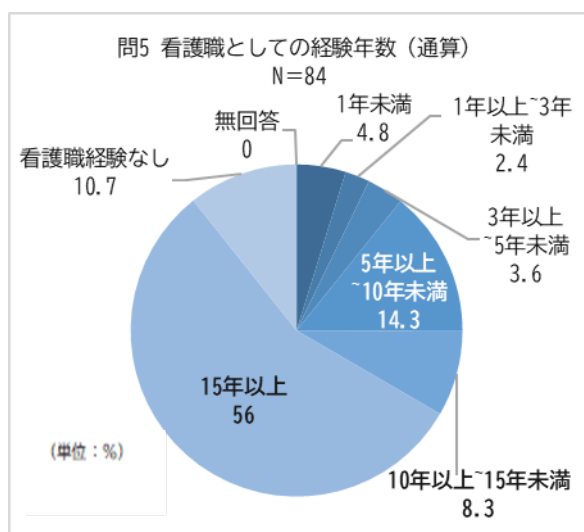
(「7 その他」の回答)

12月に引っ越しの為一旦離職中

(5) 看護職としての経験年数（通算）

問5 あなたの看護職としての経験年数（通算）をお選びください。

- 看護職としての経験年数(通算)について、回答者(84人)のうち、「15年以上」が47人(56.0%)と最も多い。次いで「5年以上～10年未満」が12人(14.3%)、「看護職経験なし」が9人(10.7%)「10年以上～15年未満」が7人(8.3%)の順に多く、「1年未満」4人(4.8%)、「3年以上～5年未満」3人(3.6%)、「1年以上～3年未満」2人(2.4%)の順になっている。看護職経験年数5年以上を有する回答者は66人(78.6%)。看護職経験年数3年未満の回答者は6人(7.2%)。

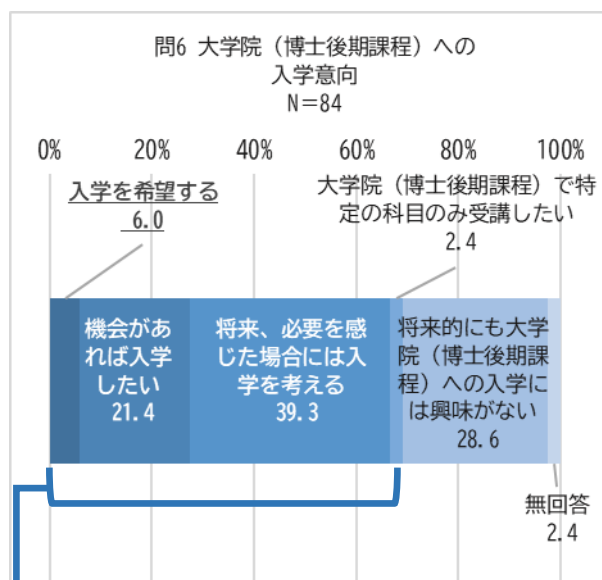


| | 人数 | % |
|---------------|----|------|
| 1 1年未満 | 4 | 4.8 |
| 2 1年以上～3年未満 | 2 | 2.4 |
| 3 3年以上～5年未満 | 3 | 3.6 |
| 4 5年以上～10年未満 | 12 | 14.3 |
| 5 10年以上～15年未満 | 7 | 8.3 |
| 6 15年以上 | 47 | 56.0 |
| 7 看護職経験なし | 9 | 10.7 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 84 | 100 |

(6) 大学院（博士後期課程）への入学意向

問6 大学院（博士後期課程）への入学についてどのようにお考えですか。次の中から1つをお選びください。

- 大学院（博士後期課程）への入学について、回答者（84人）のうち、「将来、必要を感じた場合には入学を考える」が33人（39.3%）と最も多い。次いで「将来的にも大学院（博士後期課程）への入学には興味がない」が24人（28.6%）、「機会があれば入学したい」が18人（21.4%）、「入学を希望する」が5人（6.0%）、「大学院（博士後期課程）で特定の科目のみ受講したい」が2人（2.4%）の順になっている。※無回答は2人（2.4%）。
- 大学院（博士後期課程）への入学について、肯定的な考えを示した回答者は58人（69.1%）（「入学を希望する」＋「機会があれば入学したい」＋「将来、必要を感じた場合には入学を考える」＋「大学院（博士後期課程）で特定の科目のみ受講したい」）。



| | 人数 | % |
|-------------------------------|----|------|
| 1 入学を希望する | 5 | 6.0 |
| 2 機会があれば入学したい | 18 | 21.4 |
| 3 将来、必要を感じた場合には入学を考える | 33 | 39.3 |
| 4 大学院（博士後期課程）で特定の科目のみ受講したい | 2 | 2.4 |
| 5 将来的にも大学院（博士後期課程）への入学には興味がない | 24 | 28.6 |
| 無回答 | 2 | 2.4 |
| 合計 | 84 | 100 |

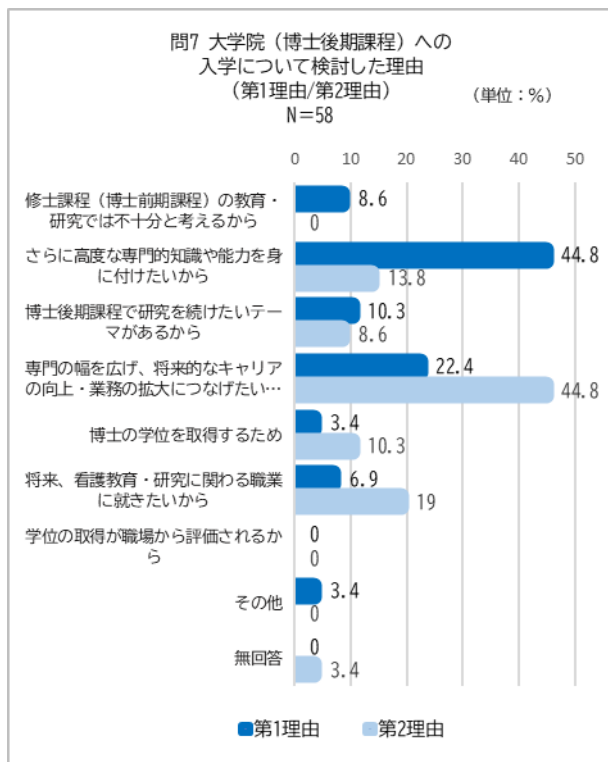
「入学を希望する」＋「機会があれば入学したい」
 ＋「将来、必要を感じた場合には入学を考える」
 ＋「大学院（博士後期課程）で特定の科目のみ受講したい」：**69.1%**

(7) 大学院（博士後期課程）への入学について検討した理由

問7 問6で1～4を選択された方へおたずねします。それは、どのような理由からですか。

次の中から第2理由までお選びください。回答後は問8へお進みください。

- 問6において、大学院（博士後期課程）への入学について、肯定的な考えを示した回答者（58人）のうち、大学院（博士後期課程）への入学について検討した理由の第1理由は、「さらに高度な専門的知識や能力を身に付けたいから」26人（44.8%）、「専門の幅を広げ、将来的なキャリアの向上・業務の拡大につなげたいから」13人（22.4%）、「博士後期課程で研究を続けたいテーマがあるから」6人（10.3%）が上位。第2理由は、「専門の幅を広げ、将来的なキャリアの向上・業務の拡大につなげたいから」26人（44.8%）、「将来、看護教育・研究に関わる職業に就きたいから」11人（19.0%）、「さらに高度な専門的知識や能力を身に付けたいから」8人（13.8%）が上位。



| | 第1理由 | | 第2理由 | |
|-----------------------------------|------|------|------|------|
| | 人数 | % | 人数 | % |
| 修士課程（博士前期課程）の教育・研究では不十分と考えるから | 5 | 8.6 | 0 | 0.0 |
| さらに高度な専門的知識や能力を身に付けたいから | 26 | 44.8 | 8 | 13.8 |
| 博士後期課程で研究を続けたいテーマがあるから | 6 | 10.3 | 5 | 8.6 |
| 専門の幅を広げ、将来的なキャリアの向上・業務の拡大につなげたいから | 13 | 22.4 | 26 | 44.8 |
| 博士の学位を取得するため | 2 | 3.4 | 6 | 10.3 |
| 将来、看護教育・研究に関わる職業に就きたいから | 4 | 6.9 | 11 | 19.0 |
| 学位の取得が職場から評価されるから | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| その他 | 2 | 3.4 | 0 | 0.0 |
| 無回答 | 0 | 0.0 | 2 | 3.4 |
| 合計 | 58 | 100 | 58 | 100 |

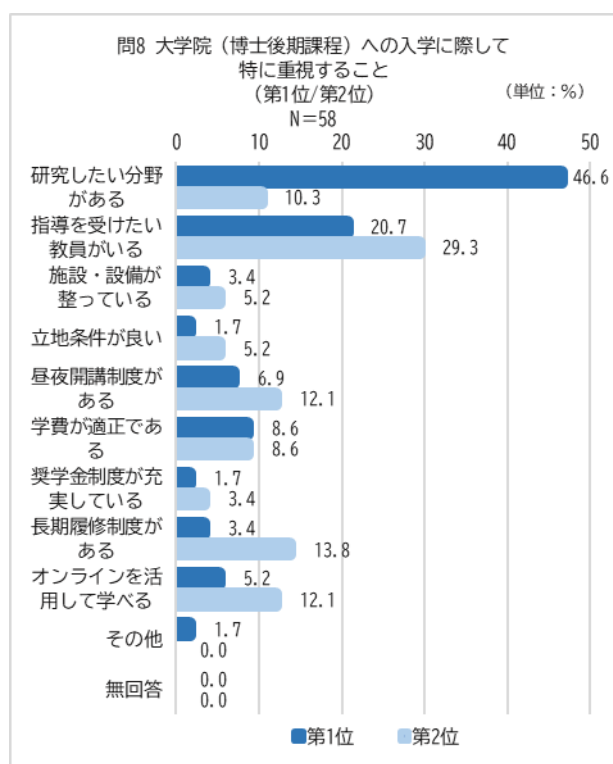
(「8 その他」の回答)

新しい知識を取り入れ、常に対象者に対してよりよい選択ができるよう支援したいと考えるため、自己に必要な過程と思えば入学したい。

(8) 大学院（博士後期課程）への入学に際して特に重視すること

問8 大学院（博士後期課程）への入学に際して特に重視することを、次の中から第2位までお選びください。

- 大学院（博士後期課程）への入学について、特に重視することについて、問6で大学院（博士後期課程）の入学について、肯定的な考えを示した回答者（58人）のうち、第1位は「研究したい分野がある」27人（46.6%）、次いで「指導を受けたい教員がいる」12人（20.7%）、「学費が適正である」5人（8.6%）が上位。第2位は「指導を受けたい教員がいる」17人（29.3%）。次いで「長期履修制度がある」8人（13.8%）、「昼夜開講制度がある」、「オンラインを活用して学べる」それぞれ7人（12.1%）が上位。



| | 第1位 | | 第2位 | |
|-----------------|-----|------|-----|------|
| | 人数 | % | 人数 | % |
| 1 研究したい分野がある | 27 | 46.6 | 6 | 10.3 |
| 2 指導を受けたい教員がいる | 12 | 20.7 | 17 | 29.3 |
| 3 施設・設備が整っている | 2 | 3.4 | 3 | 5.2 |
| 4 立地条件が良い | 1 | 1.7 | 3 | 5.2 |
| 5 昼夜開講制度がある | 4 | 6.9 | 7 | 12.1 |
| 6 学費が適正である | 5 | 8.6 | 5 | 8.6 |
| 7 奨学金制度が充実している | 1 | 1.7 | 2 | 3.4 |
| 8 長期履修制度がある | 2 | 3.4 | 8 | 13.8 |
| 9 オンラインを活用して学べる | 3 | 5.2 | 7 | 12.1 |
| 10 その他 | 1 | 1.7 | 0 | 0.0 |
| 無回答 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 58 | 100 | 58 | 100 |

(「10 その他」の回答)

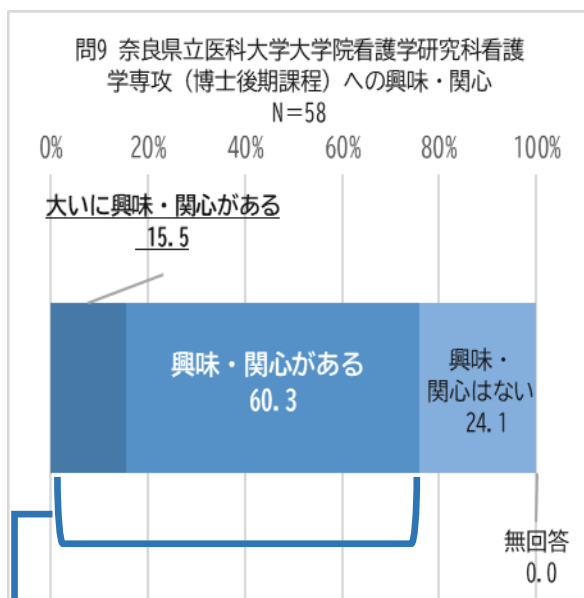
学業と仕事が両立できる

(9) 奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）への興味・関心

問9 本学が設置予定の看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）についてどのようにお考えですか。次の中から1つお選びください。

■ 本看護学専攻（博士後期課程）への興味・関心について、問6で大学院（博士後期課程）への入学について、肯定的な考えを示した回答者（58人）のうち、本看護学専攻（博士後期課程）について、「興味・関心がある」が35人（60.3%）と最も多い。次いで、「興味・関心はない」が14人（24.1%）、「大いに興味・関心がある」が9人（15.5%）の順に多い。

■ 「大いに興味・関心がある」＋「興味・関心がある」は44人（75.8%）。



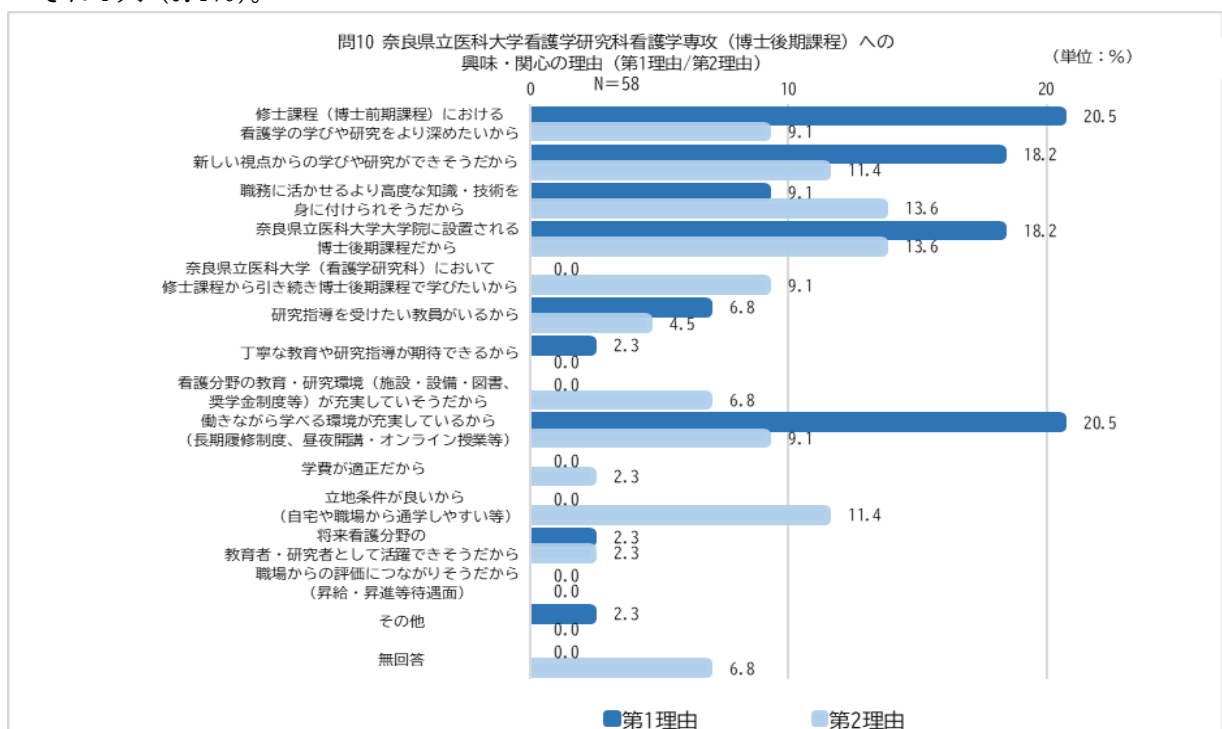
| | 人数 | % |
|---------------|----|------|
| 1 大いに興味・関心がある | 9 | 15.5 |
| 2 興味・関心がある | 35 | 60.3 |
| 3 興味・関心はない | 14 | 24.1 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 58 | 100 |

「大いに興味・関心がある」＋「興味・関心がある」：75.8%

(10) 奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）への興味・関心の理由について

問10 問9で「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」と回答された方におたずねします。それは、どのような理由からですか。次の中から第2理由までお選びください。

- 本看護学専攻（博士後期課程）について、興味・関心を示した回答者（44人）のうち、興味・関心の理由について、第1理由の上位は、「修士課程（博士前期課程）における看護学の学びや研究をより深めたいから」、「働きながら学べる環境が充実しているから（長期履修制度、昼夜開講・オンライン授業等）」それぞれ9人（20.5%）、「新しい視点からの学びや研究ができそうだから」、「奈良県立医科大学大学院に設置される博士後期課程だから」それぞれ8人（18.2%）、「職務に活かせるより高度な知識・技術を身に付けられそうだから」4人（9.1%）。
- 第2理由の上位は、「職務に活かせるより高度な知識・技術を身に付けられそうだから」、「奈良県立医科大学大学院に設置される博士後期課程だから」がそれぞれ6人（13.6%）、「新しい視点からの学びや研究ができそうだから」、「立地条件が良いから（自宅や職場から通学しやすい等）」がそれぞれ5人（11.4%）、「修士課程（博士前期課程）における看護学の学びや研究をより深めたいから」、「奈良県立医科大学（看護学研究科）において修士課程から引き続き博士後期課程で学びたいから」、「働きながら学べる環境が充実しているから（長期履修制度、昼夜開講・オンライン授業等）」それぞれ4人（9.1%）。



| | 第1理由 | | 第2理由 | |
|---|------|------|------|------|
| | 人数 | % | 人数 | % |
| 1 修士課程（博士前期課程）における看護学の学びや研究をより深めたいから | 9 | 20.5 | 4 | 9.1 |
| 2 新しい視点からの学びや研究ができそうだから | 8 | 18.2 | 5 | 11.4 |
| 3 職務に活かせるより高度な知識・技術を身に付けられそうだから | 4 | 9.1 | 6 | 13.6 |
| 4 奈良県立医科大学大学院に設置される博士後期課程だから | 8 | 18.2 | 6 | 13.6 |
| 5 奈良県立医科大学（看護学研究科）において修士課程から引き続き博士後期課程で学びたいから | 0 | 0.0 | 4 | 9.1 |
| 6 研究指導を受けたい教員がいるから | 3 | 6.8 | 2 | 4.5 |
| 7 丁寧な教育や研究指導が期待できるから | 1 | 2.3 | 0 | 0.0 |
| 8 看護分野の教育・研究環境（施設・設備・図書、奨学金制度等）が充実していそうだから | 0 | 0.0 | 3 | 6.8 |
| 9 働きながら学べる環境が充実しているから（長期履修制度、昼夜開講・オンライン授業等） | 9 | 20.5 | 4 | 9.1 |
| 10 学費が適正だから | 0 | 0.0 | 1 | 2.3 |
| 11 立地条件が良いから（自宅や職場から通学しやすい等） | 0 | 0.0 | 5 | 11.4 |
| 12 将来看護分野の教育者・研究者として活躍できそうだから | 1 | 2.3 | 1 | 2.3 |
| 13 職場からの評価につながりそうだから（昇給・昇進等待遇面） | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 14 その他 | 1 | 2.3 | 0 | 0.0 |
| 無回答 | 0 | 0.0 | 3 | 6.8 |
| 合計 | 44 | 100 | 44 | 100 |

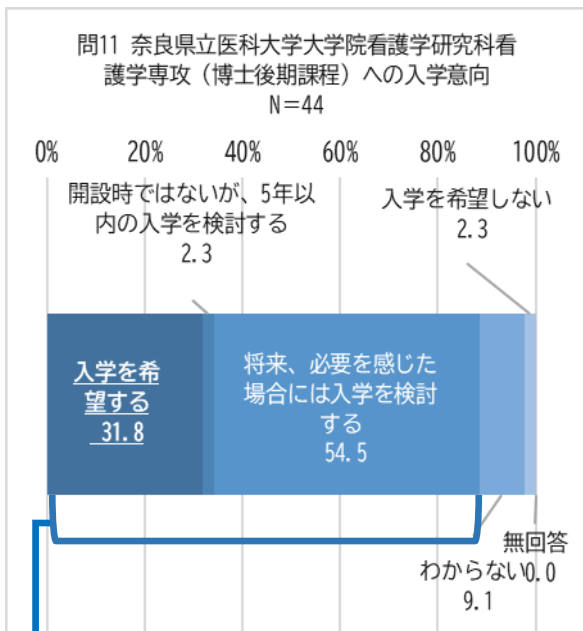
（「14 その他」の回答）

① 母校だから関心があるという程度②令和7年より校舎が移るため、設備がどうなるのか興味がある。

(11) 奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）への入学意向について

問11 今後、奈良県立医科大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）を受験し、合格された場合に入学を希望しますか。次の中から1つお選びください。

- 本看護学専攻（博士後期課程）に興味・関心を示した回答者（44人）のうち、「将来、必要を感じた場合には入学を検討する」が24人（54.5%）と最も多い。次いで、「入学を希望する」14人（31.8%）、「わからない」4人（9.1%）、「開設時ではないが、5年以内の入学を希望する」、「入学を希望しない」がそれぞれ1人（2.3%）の順になっている。
- 「入学を希望する」+「開設時ではないが、5年以内の入学を検討する」+「将来、必要を感じた場合には入学を検討する」の39人（88.6%）が本看護学専攻（博士後期課程）への入学意向として、肯定的な回答を示している。



| | 人数 | % |
|-------------------------|----|------|
| 1 入学を希望する | 14 | 31.8 |
| 2 開設時ではないが、5年以内の入学を検討する | 1 | 2.3 |
| 3 将来、必要を感じた場合には入学を検討する | 24 | 54.5 |
| 4 わからない | 4 | 9.1 |
| 5 入学を希望しない | 1 | 2.3 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 44 | 100 |

「入学を希望する」+「開設時ではないが、5年以内の入学を検討する」+
「将来、必要を感じた場合には入学を検討する」：88.6%

(12) 調査結果のまとめ

- 奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）への入学意向について確認したところ、14人が「入学を希望する」と回答。この結果から、本看護学専攻（博士後期課程）の入学定員2名に対して、7倍の入学意向が見込まれる。

加えて、「開設時ではないが、5年以内の入学を検討する」と「将来必要を感じた場合には入学を検討する」の25人と「入学を希望する」14人の合計39人の肯定的な回答で考えた場合、定員2名の19.5倍の入学意向が見込まれる。

- さらに、より厳密な入学意向を把握するため、問6「大学院（博士後期課程）への入学意向」において、「入学を希望する」と回答した明確な博士後期課程への入学意向を示した5人について、及び「機会があれば入学したい」と「将来、必要を感じた場合には入学を考える」と回答した潜在的な博士後期課程への入学意向を示した51人についてのクロス集計・分析を実施した結果、本看護学専攻（博士後期課程）の入学定員2名の継続的な確保は十分に可能であり、定員の充足が見込まれる。

クロス集計・分析の詳細は下記の通り。

【クロス集計・分析】

<クロス集計分析①>

問6「大学院（博士後期課程）への入学意向」において、「入学を希望する」と回答した5人のうち、問9「奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）への興味・関心」において、「大いに興味・関心がある」と「興味・関心がある」と回答した3人×問11「奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）への入学意向」

| 上段：人数 下段：% | | 問9 興味・関心 | | |
|---------------|-----------------------|----------|-------------|-----------|
| | | 合計 | 大いに興味・関心がある | 興味・関心がある |
| 問11 入学意向 | 全体 | 3 100 | 2 66.7 | 1 33.3 |
| | 入学を希望する | 2 100 | 2 100 | 0 0 |
| | 開設時ではないが、5年以内の入学を検討する | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 将来、必要を感じた場合には入学を検討する | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | わからない | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 入学を希望しない | 1 100 | 0 0.0 | 1 100 |

問6「大学院（博士後期課程）への入学意向」において、「入学を希望する」と回答した5人のうち、問9「奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）への興味・関心」の回答は、「大いに興味・関心がある」2人（40%）と「興味・関心がある」1人（20%）の合計3人（60.0%）が本看護学専攻（博士後期課程）への興味・関心を示した。

問6「大学院（博士後期課程）への入学意向」において「入学を希望する」×
問9「奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）への
興味・関心」（N=5）

| | 人数 | % |
|---------------|----|------|
| 1 大いに興味・関心がある | 2 | 40.0 |
| 2 興味・関心がある | 1 | 20.0 |
| 3 興味・関心はない | 2 | 40.0 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 5 | 100 |

この3人のうち、問11「奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）への入学意向」について尋ねたところ、「入学を希望する」が2人（66.7%）となり、明確な博士後期課程への入学意向と本看護学専攻（博士後期課程）への興味・関心を併せ持つ者のうち、少なくとも2人は本看護学専攻（博士後期課程）への入学希望を示し、入学定員2名を充足することが見込まれる結果となった。

問9「奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）への興味・関心」
において、「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」×問11「奈良県立医科大学
大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）への入学意向」（N=3）

| | 人数 | % |
|-------------------------|----|------|
| 1 入学を希望する | 2 | 66.7 |
| 2 開設時ではないが、5年以内の入学を検討する | 0 | 0.0 |
| 3 将来、必要を感じた場合には入学を検討する | 0 | 0.0 |
| 4 わからない | 0 | 0.0 |
| 5 入学を希望しない | 1 | 33.3 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 3 | 100 |

なお、明確な博士後期課程への入学意向と本看護学専攻（博士後期課程）への興味・関心を併せ持ち本看護学専攻（博士後期課程）へ「入学を希望する」と回答した2名は、奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）の修了生であり、本看護学専攻（博士後期課程）の開設時において入学資格を有している。

<クロス集計分析②>

問6で「機会があれば入学したい」と「将来、必要を感じた場合には入学を考える」と回答した51名

×問9「奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）への興味・関心」

×問11「奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）への入学意向」

| 上段：人数 下段：% | | 問9 興味・関心 | | |
|---------------|-----------------------|-----------|-------------|------------|
| | | 合計 | 大いに興味・関心がある | 興味・関心がある |
| 問11 入学意向 | 全体 | 39 100 | 7 17.9 | 32 82.1 |
| | 入学を希望する | 12 100 | 5 41.7 | 7 58.3 |
| | 開設時ではないが、5年以内の入学を検討する | 1 100 | 0 0.0 | 1 100 |
| | 将来、必要を感じた場合には入学を検討する | 23 100 | 2 8.7 | 21 91.3 |
| | わからない | 3 100 | 0 0.0 | 3 100 |
| | 入学を希望しない | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |

問6の「大学院（博士後期課程）への入学意向」について、「機会があれば入学したい」、「将来、必要を感じた場合には入学を考える」と潜在的な入学意向を示した51名については、本看護学専攻（博士後期課程）について「興味・関心がある」が32名（62.7%）と最も多く、次いで「大いに興味・関心がある」7名（13.7%）であり、39名（76.4%）が本看護学専攻（博士後期課程）への興味・関心を示す結果であった。

このうち、本看護学専攻（博士後期課程）の入学意向については「将来、必要を感じた場合には入学を検討する」23名（59.0%）と最も多く、次いで、「入学を希望する」が12名（30.8%）、「開設時ではないが、5年以内の入学を検討する」1名（2.6%）であり、潜在的な大学院博士後期課程

の入学意向を示す者のうち、本看護学専攻（博士後期課程）への興味・関心と本看護学専攻（博士後期課程）への入学意向についての肯定的な回答は計 36 名（92.4%）となる結果であった。

潜在的な大学院博士後期課程の入学意向を示す者のうち、本看護学専攻（博士後期課程）に「入学を希望する」と回答した者は、「大いに興味・関心がある」5 名、「興味・関心がある」7 名の計 12 名となり、入学定員 2 名に対し、6 倍の結果となった。この積極的な入学希望の他、本学に「開設時ではないが、5 年以内の入学を検討する」、「将来、必要を感じた場合には入学を検討する」との肯定的な回答をした者は、「大いに興味・関心がある」で 2 名、「興味・関心がある」で 22 名、合計で 24 名となり、入学定員 2 名に対し、12 倍の入学意向が示された。このことにより、潜在的に大学院博士後期課程への進学希望を持つ者の中に本学を進学先の有力候補と考える者も一定数存在することがわかり、今後、本学の教育研究内容を積極的に周知していくことで、将来的な本学への入学者の確保につながる可能性も十分考えられる。

【クロス集計分析からのまとめ】

以上、上記クロス集計・分析①及び②の結果から開設時及び中長期的な観点からの本看護学専攻（博士後期課程）への進学ニーズや進学可能性があることが示されたと考えられる。

したがって、本大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）の入学定員 2 名の継続的な確保は十分に可能であり、定員の充足が見込まれる。

問 12 本学が設置予定の看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）の設置計画について、ご意見・ご要望等がございましたらお聞かせください。

| 自由回答意見 |
|--|
| 奈良県内に公的な大学院（博士後期）は必要だと思います。教員の研究力も必要だと思います。期待しております。 |
| 修士修了から博士にすすみたいと考えておりましたが、奈良県立医科大学で設置される時期が予測できませんでした。もう 55 才と年齢が高くなってしまいましたが、学びたい気持ちはあります。 |
| ワーキングマザーでも通える仕組みが必要だと思われます（既にとのえておられるかもしれませんが）広報する上でも、「オンラインの活用等でワーママでも学びやすい環境づくりをしています」等と書いていると興味がわきます。 |
| 大学院にすすむ人に対して附属病院の勤務に関して、融通（希望 5 日しか提出できないため、また科によって師長の考えや提示で終わるのが難しいなど）がきくようになれば、もっと進学する人が増えるのではないかと思う。病院との連携をとるべき。また、院内の研究のレベルが低く、職場で活かせるところがない。評価者や、病棟での研究推奨する立場の人も知識がなく、やる気がなくなる。評価されず時間外もなく職場で活かしているという達成感もなく、設置するだけでなく病院と連携してほしい。 |
| 附属病院とのより密接な連携ができるカリキュラムや修了後のキャリア形成が可能になることを期待します。 |
| 応援しています！ |
| 在学中より修了後すぐに奈良医大を受験したかったです。設置がいつになるかわからなかった所以他大学の博士課程入学予定です。もう少し早ければ。とても残念です。 |
| 是非、オンラインの活用もよろしくお願い致します。（問 8 に記載できませんでしたので・・・） |
| 私は年令的にもう博士課程には進学しないと思いますが、各県に 1 つ以上の看護系博士課程があるのはよいことだと思います。がんばってください。 |
| 設置も然る事ながら、修士（博士前期）課程への入学者を増やしていく方法も同時に考えて頂けると幸いです。 |
| 働きながら学べる環境であれば、入学希望する人が多いと思う。 |
| ・誰にでも権利があるのでしたら受験したいです。・奈良医大の職員であったり、県内在住者は学費が安価になる制度希望します。前大学ありました。 |
| もう少し分野があったらよいかと思います。管理・教育・情報・経営などに対応できる分野など |
| 現在学んでいるため研究を行える看護師がいることは大学病院なので必須と思います。現状の課題として研究する時間や役割、役職、給与、場所などの整備も必須と考えます。 |

アンケート調査票

奈良県立医科大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）の
設置に係るアンケート調査

- このアンケート調査は、令和6年（2024年）4月に開設する予定の奈良県立医科大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）の設置計画の基礎資料とするため、修士の学位をお持ちか取得見込みの方、またはリーフレットに記載の入学要件を満たしている方に、今後の大学院（博士後期課程）への進学意向等についてお伺いするものです。ご協力をお願い致します。
 - このアンケートの結果は、統計資料としてのみ用い、目的以外に利用することはありません。
 - 回答は、該当する番号を回答欄の□の中へ直接ご記入ください。
- *内容は構想中であり、変更となる場合がございます。

★調査回答締め切りのお願い★

令和5年2月3日（金）までに、同封の返信用封筒にてご投函頂きますようお願いいたします

【あなた本人について】

問1-1 あなたのお住まい（現住所）について、次の中から1つお選びください。 【回答欄】

- | | |
|-------|-------|
| 1 奈良県 | 5 滋賀県 |
| 2 京都府 | 6 三重県 |
| 3 大阪府 | 7 その他 |
| 4 兵庫県 | () |

1 を選択された方は問 1-2 へお進みください。
2~7 を選択された方は問2へお進みください。

問1-2 奈良県にお住まいの方は県内の市町村郡の番号を1つお選びください。

- | | | |
|---------|--------|---------|
| 1 奈良市 | 7 生駒市 | 13 北葛城郡 |
| 2 大和高田市 | 8 香芝市 | 14 吉野郡 |
| 3 大和郡山市 | 9 葛城市 | 15 その他 |
| 4 天理市 | 10 宇陀市 | () |
| 5 橿原市 | 11 生駒郡 | |
| 6 桜井市 | 12 磯城郡 | |

問2 あなたの年齢をお選びください。

- 1 20歳代 2 30歳代 3 40歳代 4 50歳以上

問3 あなたの学歴をお選びください。

- 1 現在、本学看護学研究科看護学専攻修士課程1年
2 現在、本学看護学研究科看護学専攻修士課程2年
3 本学看護学研究科看護学専攻修士課程修了生
4 他大学の大学院修士課程修了生
5 その他 ()

問4 あなたの現在の職業をお選びください。

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1 看護師として勤務 | |
| 2 保健師として勤務 | 5 看護教員として勤務 |
| 3 助産師として勤務 | 6 学生のみ |
| 4 その他の看護職・技術職として勤務 | 7 その他 |
| | () |

問5 あなたの看護職としての経験年数（通算）をお選びください。

- | | | |
|-------------|---------------|-----------|
| 1 1年未満 | 4 5年以上～10年未満 | 7 看護職経験なし |
| 2 1年以上～3年未満 | 5 10年以上～15年未満 | |
| 3 3年以上～5年未満 | 6 15年以上 | |

[大学院（博士後期課程）への入学について]

問6 大学院（博士後期課程）への入学についてどのようにお考えですか。

次の中から1つをお選びください。

- 1 入学を希望する
- 2 機会があれば入学したい
- 3 将来、必要を感じた場合には入学を考える
- 4 大学院（博士後期課程）で特定の科目のみ受講したい
- 5 将来的にも大学院（博士後期課程）への入学には興味がない

1～4 を選択された方は問7へお進みください。

5 を選択された方は問12へお進みください。

問7 問6で1～4を選択された方へおたずねします。それは、どのような理由からですか。

次の中から第2理由までお選びください。回答後は問8へお進みください。

- 1 修士課程（博士前期課程）の教育・研究では不十分と考えるから
- 2 さらに高度な専門的知識や能力を身につけたいから
- 3 博士後期課程で研究を続けたいテーマがあるから
- 4 専門の幅を広げ、将来的なキャリアの向上・業務の拡大につなげたいから
- 5 博士の学位を取得するため
- 6 将来、看護教育・研究に関わる職業に就きたいから
- 7 学位の取得が職場から評価されるから
- 8 その他（具体的に

第1理由

第2理由

)

問8 大学院（博士後期課程）への入学に際して特に重視することを、次の中から第2位までお選びください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 研究したい分野がある | 6 学費が適正である |
| 2 指導を受けたい教員がいる | 7 奨学金制度が充実している |
| 3 施設・設備が整っている | 8 長期履修制度がある |
| 4 立地条件が良い | 9 オンラインを活用して学べる |
| 5 昼夜開講制度がある | 10 その他 |

第1位

第2位

（具体的に

）

ここからは、奈良県立医科大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）の概要資料（リーフレット）をご覧ください

〔奈良県立医科大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）への入学について〕

問9 本学が設置予定の看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）についてどのようにお考えですか。次の中から1つお選びください。

- 1 大いに興味・関心がある
- 2 興味・関心がある
- 3 興味・関心はない

1、2を選択された方は問10へお進みください。
3を選択された方は問12へお進みください。

問10 問9で「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」と回答された方におたずねします。それは、どのような理由からですか。次の中から第2理由までお選びください。

- 1 修士課程（博士前期課程）における看護学の学びや研究をより深めたいから
- 2 新しい視点からの学びや研究ができそうだから
- 3 職務に活かせるより高度な知識・技術を身に付けられそうだから
- 4 奈良県立医科大学大学院に設置される博士後期課程だから
- 5 奈良県立医科大学（看護学研究科）において修士課程から引き続き博士後期課程で学びたいから
- 6 研究指導を受けたい教員がいるから
- 7 丁寧な教育や研究指導が期待できるから
- 8 看護分野の教育・研究環境（施設・設備・図書、奨学金制度等）が充実していそうだから
- 9 働きながら学べる環境が充実しているから（長期履修制度、昼夜開講・オンライン授業等）
- 10 学費が適正だから
- 11 立地条件が良いから（自宅や職場から通学しやすい等）
- 12 将来看護分野の教育者・研究者として活躍できそうだから
- 13 職場からの評価につながりそうだから（昇給・昇進等待遇面）
- 14 その他（具体的に)

第1理由

第2理由

| |
|--|
| |
| |

問11 今後、奈良県立医科大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）を受験し、合格された場合に入学を希望しますか。次の中から1つお選びください。

- 1 入学を希望する
- 2 開設時ではないが、5年以内の入学を検討する
- 3 将来、必要を感じた場合には入学を検討する
- 4 わからない
- 5 入学を希望しない

問12 本学が設置予定の看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）の設置計画について、ご意見・ご要望等がございましたらお聞かせください。

◆アンケートは以上となります。最後までご協力いただきありがとうございました◆

奈良県立医科大学教育支援課 TEL：0744-22-3051（内線2218）

計 画 概 要



奈良県立医科大学大学院

看護学研究科看護学専攻 博士後期課程（仮称）

入学定員：2名予定（収容定員6名）
取得学位：博士（看護学）

令和6年
4月
設置予定

教育目的

- 1 優秀かつ柔軟な資質を併せもち、生涯にわたって自ら学び、看護学の発展を牽引できる人材を育成する。
- 2 深い専門知識や技能を持って、国際的視野から幅広く看護学を探究できる研究者・教育者を育成する。
- 3 人間性豊かな高い倫理観に基づいた高度な看護実践能力と創造的な研究能力をもって地域・社会に展開できる人材を育成する。

研究科の概要

- 生涯発達看護分野：健康科学(心と脳の発達学)、小児看護学、女性健康・助産学、老年看護学
精神看護学、公衆衛生看護学
- 療養・生活支援看護分野：健康科学(睡眠科学)、基礎看護学、看護実践応用学、がん看護学、在宅看護学

出願資格

次の各号のいずれかに該当する者、又は次の各号のいずれかについて入学前年度までに該当する見込みの者で、看護師、保健師、助産師いずれかの免許を有する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有する者として当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (6) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で24歳に達する者

修了要件

博士後期課程に3年以上在籍し、授業科目について、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること

社会人に対する配慮

夜間や必要に応じて集中講義を開講、また、修学年限を延長する長期履修制度を導入し、在職のまま学ぶことができるように配慮する

想定される卒業後の進路

- ・ 看護系大学や研究機関に教育者・研究者として勤務
- ・ 医療機関、行政機関、保健所、訪問看護ステーション等に高度な専門知識をもつ看護職者として勤務

学生納付金

入 学 料：282,000円
授 業 料：535,800円（年額）
初年度合計：817,800円

<入学料の免除要件について>

ア 本学修士課程を修了し、本課程に進学する者

イ 大学院修士課程を修了した者又は修了見込みの者で、本人が入学の日の1年前から引き続き県内に住所を有する者で、経済的支援を必要とする者

競合する大学院・研究科等の名称

| 所在地 | 大学院名 | 研究科名（専攻名） | 入学定員 |
|------|--------------|-------------------|------|
| 大阪府 | 大阪大学大学院 | 医学系研究科（保健学専攻） | 23 |
| | 大阪公立大学大学院 | 看護学研究科（看護学専攻） | 10 |
| | 関西医科大学大学院 | 看護学研究科（看護学専攻） | 5 |
| 京都府 | 京都大学大学院 | 医学研究科（人間健康科学系専攻） | 25 |
| | 京都府立医科大学大学院 | 保健看護学研究科（保健看護学専攻） | 3 |
| | 同志社女子大学大学院 | 看護学研究科（看護学専攻） | 3 |
| 和歌山県 | 和歌山県立医科大学大学院 | 保健看護学研究科（保健看護学専攻） | 3 |
| 兵庫県 | 神戸大学大学院 | 保健学研究科（保健学専攻） | 25 |
| | 神戸市看護大学 | 看護学研究科（看護学専攻） | 3 |
| | 兵庫県立大学大学院 | 看護学研究科（看護学専攻） | 12 |

アクセス

現キャンパス：奈良県橿原市四条町840番地

新キャンパス：奈良県橿原市四条町地内
（令和7年度開設予定）



お問い合わせ

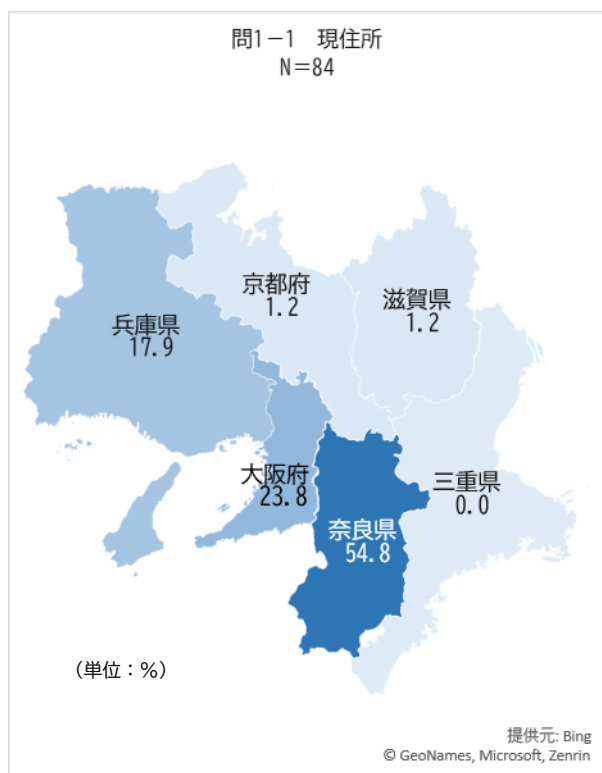
〒634-8521 奈良県橿原市四条町840番地

奈良県立医科大学 教育支援課

TEL 0744-22-3051 / Email gakuseik@naramed-u.ac.jp

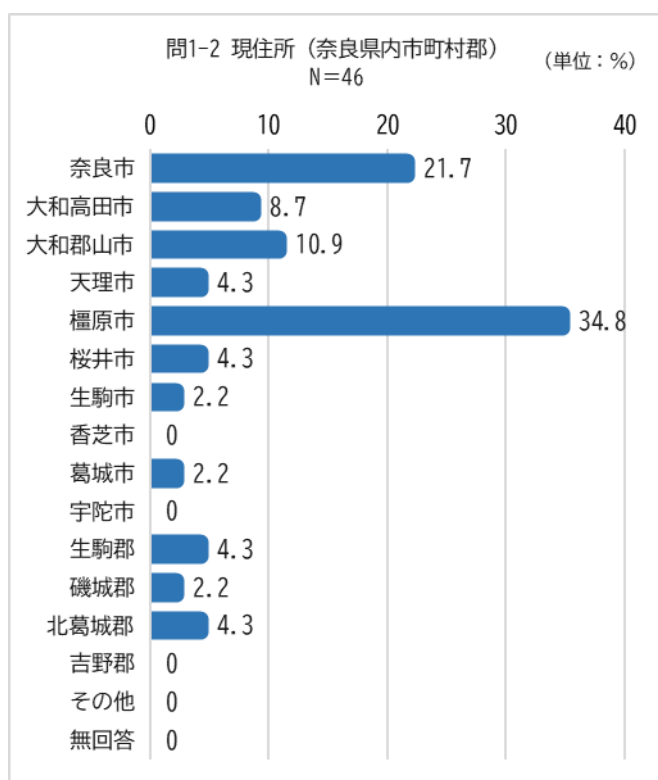
单纯集計表

問1-1 あなたのお住まい（現住所）について、次の中から1つお選びください。



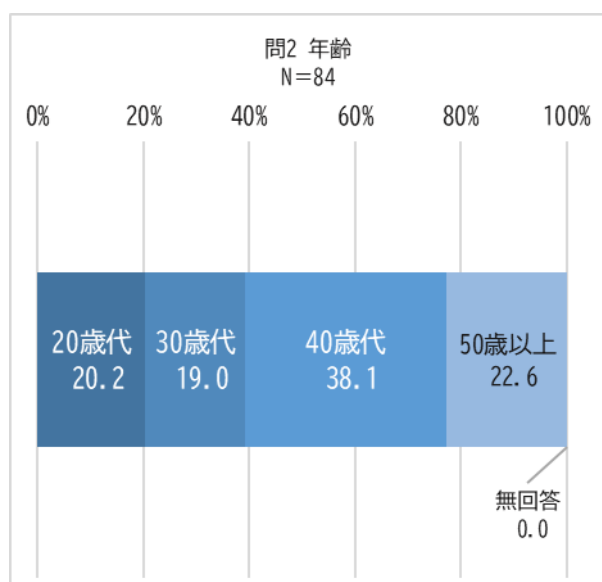
| | 人数 | % |
|-------|----|------|
| 1 奈良県 | 46 | 54.8 |
| 2 京都府 | 1 | 1.2 |
| 3 大阪府 | 20 | 23.8 |
| 4 兵庫県 | 15 | 17.9 |
| 5 滋賀県 | 1 | 1.2 |
| 6 三重県 | 0 | 0.0 |
| 7 その他 | 1 | 1.2 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 84 | 100 |

問1-2 奈良県にお住まいの方は県内の市町村郡の番号を1つお選びください。



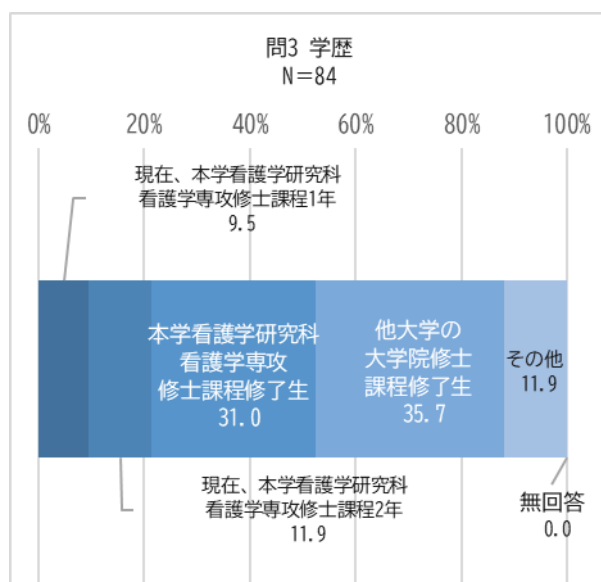
| | 人数 | % |
|---------|----|------|
| 1 奈良市 | 10 | 21.7 |
| 2 大和高田市 | 4 | 8.7 |
| 3 大和郡山市 | 5 | 10.9 |
| 4 天理市 | 2 | 4.3 |
| 5 橿原市 | 16 | 34.8 |
| 6 桜井市 | 2 | 4.3 |
| 7 生駒市 | 1 | 2.2 |
| 8 香芝市 | 0 | 0.0 |
| 9 葛城市 | 1 | 2.2 |
| 10 宇陀市 | 0 | 0.0 |
| 11 生駒郡 | 2 | 4.3 |
| 12 磯城郡 | 1 | 2.2 |
| 13 北葛城郡 | 2 | 4.3 |
| 14 吉野郡 | 0 | 0.0 |
| 15 その他 | 0 | 0.0 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 46 | 100 |

問2 あなたの年齢をお選びください。



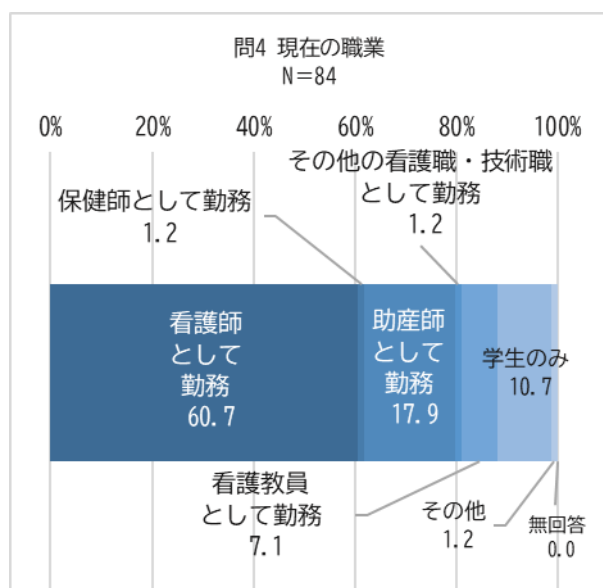
| | 人数 | % |
|---------|----|------|
| 1 20歳代 | 17 | 20.2 |
| 2 30歳代 | 16 | 19.0 |
| 3 40歳代 | 32 | 38.1 |
| 4 50歳以上 | 19 | 22.6 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 84 | 100 |

問3 あなたの学歴をお選びください。



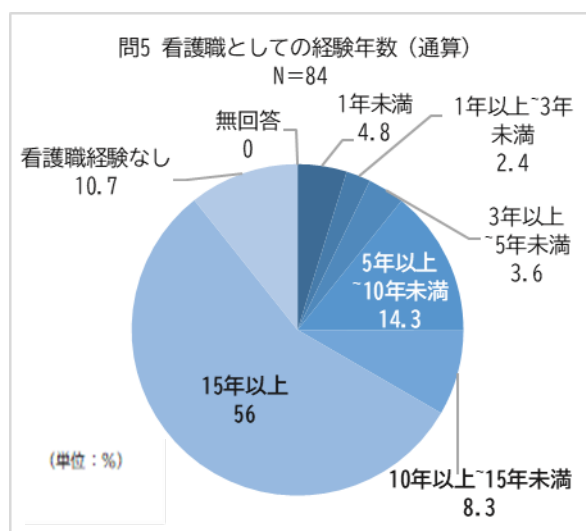
| | 人数 | % |
|------------------------|----|------|
| 現在、本学看護学研究科看護学専攻修士課程1年 | 8 | 9.5 |
| 現在、本学看護学研究科看護学専攻修士課程2年 | 10 | 11.9 |
| 本学看護学研究科看護学専攻修士課程修了生 | 26 | 31.0 |
| 他大学の大学院修士課程修了生 | 30 | 35.7 |
| その他 | 10 | 11.9 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 84 | 100 |

問4 あなたの現在の職業をお選びください。



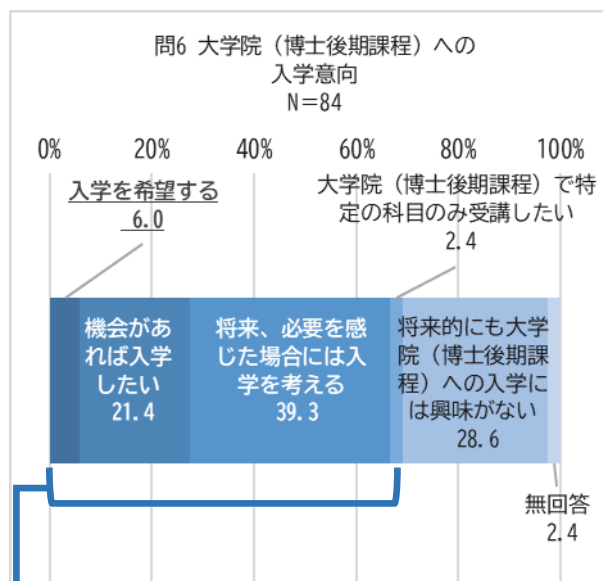
| | 人数 | % |
|--------------------|----|------|
| 1 看護師として勤務 | 51 | 60.7 |
| 2 保健師として勤務 | 1 | 1.2 |
| 3 助産師として勤務 | 15 | 17.9 |
| 4 その他の看護職・技術職として勤務 | 1 | 1.2 |
| 5 看護教員として勤務 | 6 | 7.1 |
| 6 学生のみ | 9 | 10.7 |
| 7 その他 | 1 | 1.2 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 84 | 100 |

問5 あなたの看護職としての経験年数（通算）をお選びください。



| | 人数 | % |
|---------------|----|------|
| 1 1年未満 | 4 | 4.8 |
| 2 1年以上~3年未満 | 2 | 2.4 |
| 3 3年以上~5年未満 | 3 | 3.6 |
| 4 5年以上~10年未満 | 12 | 14.3 |
| 5 10年以上~15年未満 | 7 | 8.3 |
| 6 15年以上 | 47 | 56.0 |
| 7 看護職経験なし | 9 | 10.7 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 84 | 100 |

問6 大学院（博士後期課程）への入学についてどのようにお考えですか。次の中から1つをお選びください。

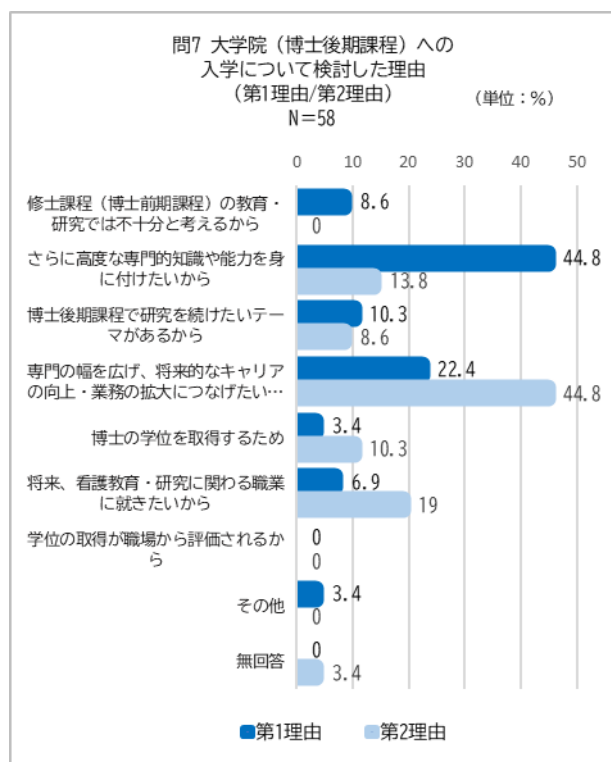


| | 人数 | % |
|-------------------------------|----|------|
| 1 入学を希望する | 5 | 6.0 |
| 2 機会があれば入学したい | 18 | 21.4 |
| 3 将来、必要を感じた場合には入学を考える | 33 | 39.3 |
| 4 大学院（博士後期課程）で特定の科目のみ受講したい | 2 | 2.4 |
| 5 将来的にも大学院（博士後期課程）への入学には興味がない | 24 | 28.6 |
| 無回答 | 2 | 2.4 |
| 合計 | 84 | 100 |

「入学を希望する」 + 「機会があれば入学したい」
 + 「将来、必要を感じた場合には入学を考える」
 + 「大学院（博士後期課程）で特定の科目のみ受講したい」: **69.1%**

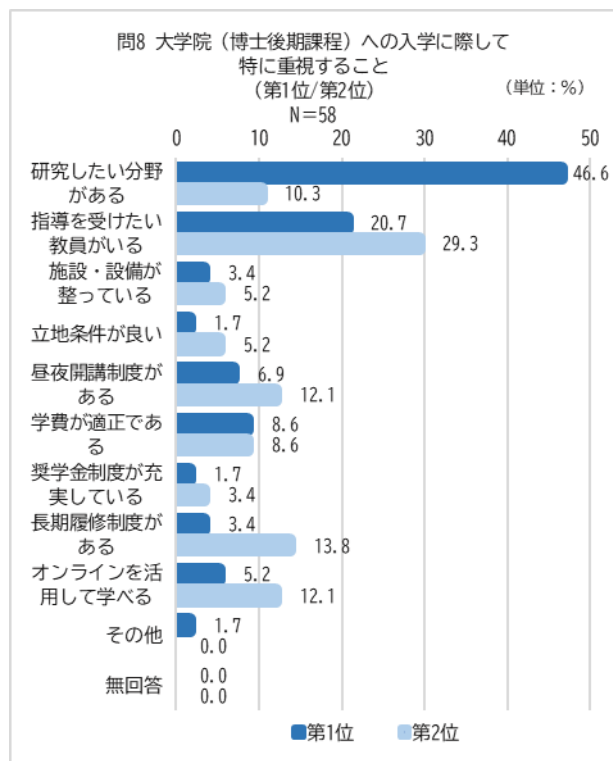
問7 問6で1～4を選択された方へおたずねします。それは、どのような理由からですか。

次の中から第2理由までお選びください。回答後は問8へお進みください。



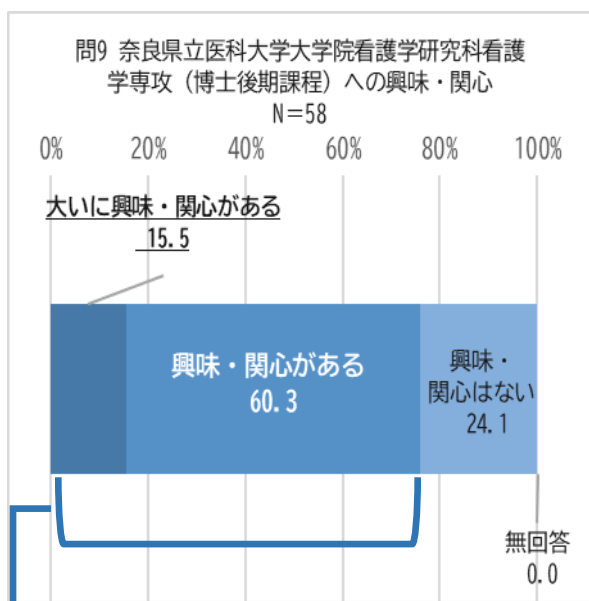
| | 第1理由 | | 第2理由 | |
|-------------------------------------|------|------|------|------|
| | 人数 | % | 人数 | % |
| 1 修士課程（博士前期課程）の教育・研究では不十分と考えるから | 5 | 8.6 | 0 | 0.0 |
| 2 さらに高度な専門的知識や能力を身に付けたいから | 26 | 44.8 | 8 | 13.8 |
| 3 博士後期課程で研究を続けたいテーマがあるから | 6 | 10.3 | 5 | 8.6 |
| 4 専門の幅を広げ、将来的なキャリアの向上・業務の拡大につなげたいから | 13 | 22.4 | 26 | 44.8 |
| 5 博士の学位を取得するため | 2 | 3.4 | 6 | 10.3 |
| 6 将来、看護教育・研究に関する職業に就きたいから | 4 | 6.9 | 11 | 19.0 |
| 7 学位の取得が職場から評価されるから | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 8 その他 | 2 | 3.4 | 0 | 0.0 |
| 無回答 | 0 | 0.0 | 2 | 3.4 |
| 合計 | 58 | 100 | 58 | 100 |

問8 大学院（博士後期課程）への入学に際して特に重視することを、次の中から第2位までお選びください。



| | 第1位 | | 第2位 | |
|-----------------|-----|------|-----|------|
| | 人数 | % | 人数 | % |
| 1 研究したい分野がある | 27 | 46.6 | 6 | 10.3 |
| 2 指導を受けたい教員がいる | 12 | 20.7 | 17 | 29.3 |
| 3 施設・設備が整っている | 2 | 3.4 | 3 | 5.2 |
| 4 立地条件が良い | 1 | 1.7 | 3 | 5.2 |
| 5 昼夜開講制度がある | 4 | 6.9 | 7 | 12.1 |
| 6 学費が適正である | 5 | 8.6 | 5 | 8.6 |
| 7 奨学金制度が充実している | 1 | 1.7 | 2 | 3.4 |
| 8 長期履修制度がある | 2 | 3.4 | 8 | 13.8 |
| 9 オンラインを活用して学べる | 3 | 5.2 | 7 | 12.1 |
| 10 その他 | 1 | 1.7 | 0 | 0.0 |
| 無回答 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 58 | 100 | 58 | 100 |

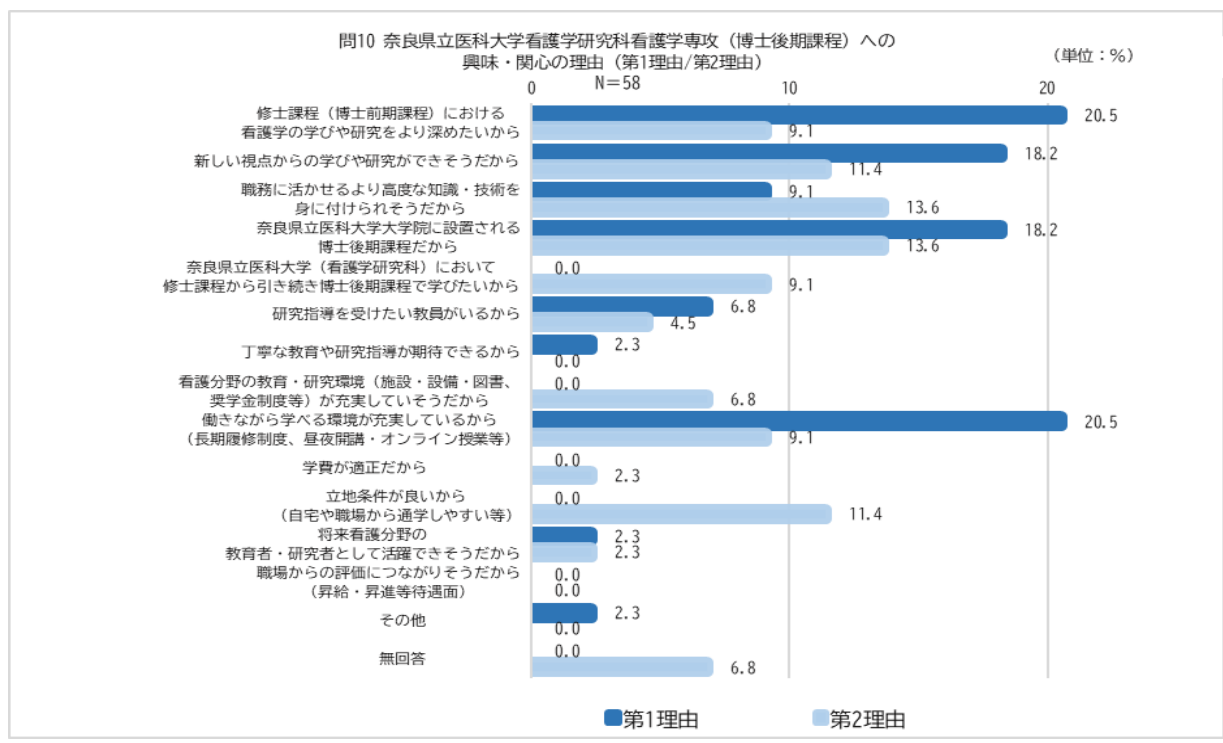
問9 本学が設置予定の看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）についてどのようにお考えですか。次の中から1つお選びください。



| | 人数 | % |
|---------------|----|------|
| 1 大いに興味・関心がある | 9 | 15.5 |
| 2 興味・関心がある | 35 | 60.3 |
| 3 興味・関心はない | 14 | 24.1 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 58 | 100 |

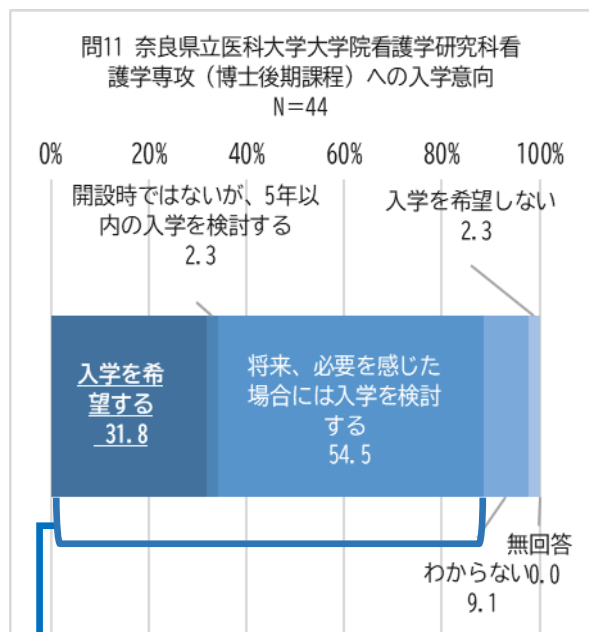
「大いに興味・関心がある」 + 「興味・関心がある」: **75.8%**

問10 問9で「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」と回答された方におたずねします。それは、どのような理由からですか。次の中から第2理由までお選びください。



| | 第1理由 | | 第2理由 | |
|---|------|------|------|------|
| | 人数 | % | 人数 | % |
| 1 修士課程（博士前期課程）における看護学の学びや研究をより深めたいから | 9 | 20.5 | 4 | 9.1 |
| 2 新しい視点からの学びや研究ができそうだから | 8 | 18.2 | 5 | 11.4 |
| 3 職務に活かせるより高度な知識・技術を身に付けられそうだから | 4 | 9.1 | 6 | 13.6 |
| 4 奈良県立医科大学大学院に設置される博士後期課程だから | 8 | 18.2 | 6 | 13.6 |
| 5 奈良県立医科大学（看護学研究科）において修士課程から引き続き博士後期課程で学びたいから | 0 | 0.0 | 4 | 9.1 |
| 6 研究指導を受けたい教員がいるから | 3 | 6.8 | 2 | 4.5 |
| 7 丁寧な教育や研究指導が期待できるから | 1 | 2.3 | 0 | 0.0 |
| 8 看護分野の教育・研究環境（施設・設備・図書、奨学金制度等）が充実していそうだから | 0 | 0.0 | 3 | 6.8 |
| 9 働きながら学べる環境が充実しているから（長期履修制度、昼夜開講・オンライン授業等） | 9 | 20.5 | 4 | 9.1 |
| 10 学費が適正だから | 0 | 0.0 | 1 | 2.3 |
| 11 立地条件が良いから（自宅や職場から通学しやすい等） | 0 | 0.0 | 5 | 11.4 |
| 12 将来看護分野の教育者・研究者として活躍できそうだから | 1 | 2.3 | 1 | 2.3 |
| 13 職場からの評価につながりそうだから（昇給・昇進等待遇面） | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 14 その他 | 1 | 2.3 | 0 | 0.0 |
| 無回答 | 0 | 0.0 | 3 | 6.8 |
| 合計 | 44 | 100 | 44 | 100 |

問 11 今後、奈良県立医科大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）を受験し、合格された場合に入学を希望しますか。次の中から1つお選びください。



| | 人数 | % |
|-------------------------|----|------|
| 1 入学を希望する | 14 | 31.8 |
| 2 開設時ではないが、5年以内の入学を検討する | 1 | 2.3 |
| 3 将来、必要を感じた場合には入学を検討する | 24 | 54.5 |
| 4 わからない | 4 | 9.1 |
| 5 入学を希望しない | 1 | 2.3 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 44 | 100 |

「入学を希望する」+「開設時ではないが、5年以内の入学を検討する」+
「将来、必要を感じた場合には入学を検討する」：88.6%

奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻
（博士後期課程）＜仮称＞設置に係る
採用意向に関するアンケート調査報告

令和5年3月

一般財団法人 日本開発構想研究所

<アンケート調査概要>

(1) 調査目的

令和6年4月に予定している奈良県立医科大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）の開設に向けて、奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）（仮称）の修了生に対する医療機関等の採用意向を把握することを目的とする。

(2) 調査対象

奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）（仮称）の修了生の就職が見込まれる2府2県（奈良県、大阪府、京都府、和歌山県）の医療機関等（214施設）の看護職員採用担当者。

(3) 調査方法

奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）（仮称）の修了生の就職が見込まれる2府2県（奈良県、大阪府、京都府、和歌山県）の医療機関等（214施設）の看護職員採用担当者にアンケート用紙および奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）（仮称）の概要を送付し（奈良県立医科大学附属病院については同大学から配布）、アンケート調査を実施。回答用紙は医療機関等から研究所に直接郵送（奈良県立医科大学附属病院については、大学が回収し、研究所に郵送）。

その結果、40件の有効回答を得た。集計結果より、奈良県立医科大学大学院 看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）（仮称）の修了生に対する採用意向を分析した。

(4) 調査実施期間

令和5年1月～令和5年2月

(5) 有効回収率等

調査対象数：214 件

有効回答数：40 件

有効回収率：18.69%（有効回答 40 件 ÷ 調査対象 214 件）

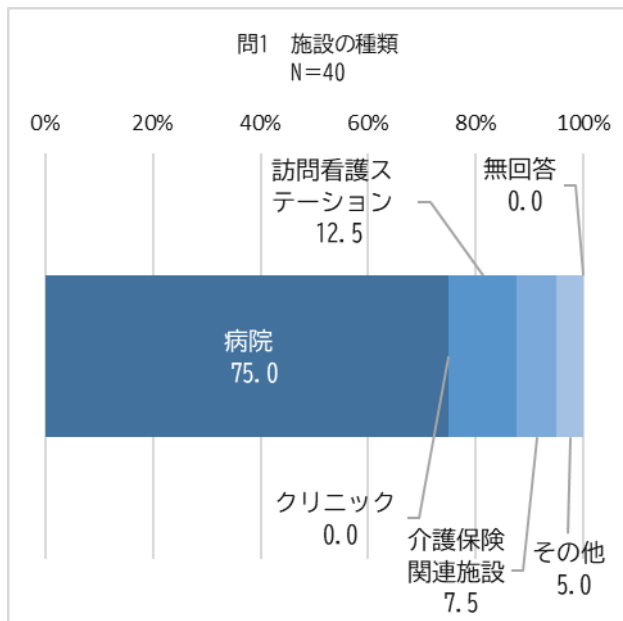
※ 設置を構想している奈良県立医科大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）は仮称であるが、本文中ではその旨の表示を省略した。

<アンケート調査結果>

(1) 施設の種類

問1 貴施設の種類について、次の中から該当する番号を1つお選びください。

- 施設の種類について、回答施設等（40件）のうち、「病院」が30件（75.0%）と最も多い。次いで「訪問看護ステーション」が5件（12.5%）、「介護保険関連施設」が3件（7.5%）、「その他」が2件（5.0%）の順になっている。「病院」、「訪問看護ステーション」、「介護保険関連施設」は38施設（95%）。



| | 件数 | % |
|--------------|----|------|
| 1 病院 | 30 | 75.0 |
| 2 クリニック | 0 | 0.0 |
| 3 訪問看護ステーション | 5 | 12.5 |
| 4 介護保険関連施設 | 3 | 7.5 |
| 5 その他 | 2 | 5.0 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 40 | 100 |

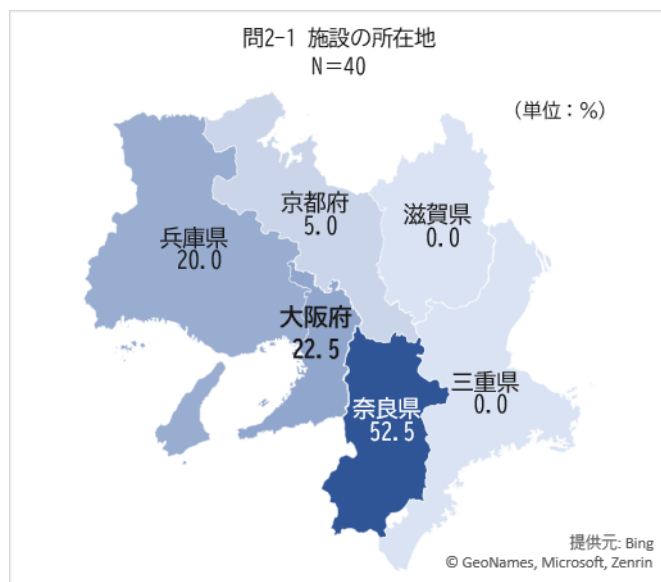
（「5 その他」の回答）

| | |
|-----|----------|
| 助産所 | 障害者支援事務所 |
|-----|----------|

(2) 施設の所在地

問2-1 貴施設の所在地について、次の中から該当する番号を1つお選びください。

- 回答施設等（40 件）の所在地について、「奈良県」が 21 件（52.5%）と最も多く、次いで「大阪府」9 件（22.5%）、「兵庫県」8 件（20.0%）、「京都府」が 2 件（5.0%）の順になっている。「奈良県」、「大阪府」、「兵庫県」で 38 件（95%）。



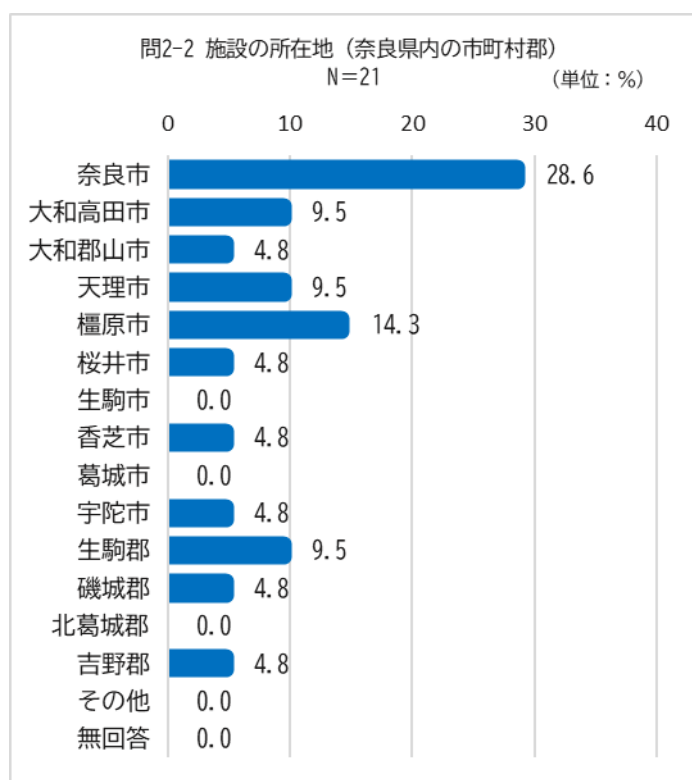
| | 件数 | % |
|-------|----|------|
| 1 奈良県 | 21 | 52.5 |
| 2 京都府 | 2 | 5.0 |
| 3 大阪府 | 9 | 22.5 |
| 4 兵庫県 | 8 | 20.0 |
| 5 滋賀県 | 0 | 0.0 |
| 6 三重県 | 0 | 0.0 |
| 7 その他 | 0 | 0.0 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 40 | 100 |

(「7 その他」の回答)

回答なし

問2-2 問2-1の貴施設の所在地において、1 奈良県を選択された方は県内の市町村郡の番号を1つお選びください。

■ 奈良県内に所在する施設等（21 件）のうち、市町村郡別の所在地について、「奈良市」が 6 件（28.6%）と最も多く、次いで「橿原市」が 3 件（14.3%）、「大和高田市」、「天理市」、「生駒郡」が 2 件（9.5%）、「大和郡山市」、「桜井市」、「香芝市」、「宇陀市」、「磯城郡」、「吉野郡」が 1 件（4.8%）の順になっている。「奈良市」、「橿原市」、「大和高田市」、「天理市」、「生駒郡」で 15 件（71.4%）。



| | 件数 | % |
|---------|----|------|
| 1 奈良市 | 6 | 28.6 |
| 2 大和高田市 | 2 | 9.5 |
| 3 大和郡山市 | 1 | 4.8 |
| 4 天理市 | 2 | 9.5 |
| 5 橿原市 | 3 | 14.3 |
| 6 桜井市 | 1 | 4.8 |
| 7 生駒市 | 0 | 0.0 |
| 8 香芝市 | 1 | 4.8 |
| 9 葛城市 | 0 | 0.0 |
| 10 宇陀市 | 1 | 4.8 |
| 11 生駒郡 | 2 | 9.5 |
| 12 磯城郡 | 1 | 4.8 |
| 13 北葛城郡 | 0 | 0.0 |
| 14 吉野郡 | 1 | 4.8 |
| 15 その他 | 0 | 0.0 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 21 | 100 |

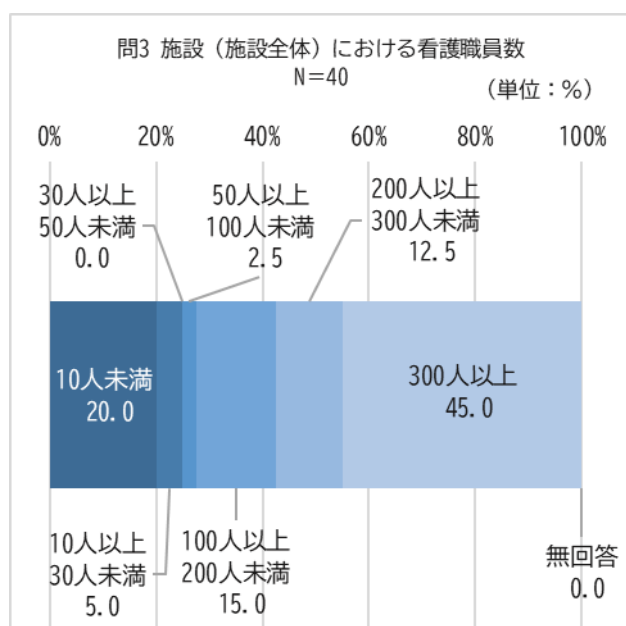
（「15 その他」の回答）

回答なし

(3) 施設（施設全体）における看護職員数

問3 貴施設（施設全体）における看護職員数について、次の中から該当する番号を1つお選びください。

- 回答施設等（40 件）の施設（施設全体）における看護職員数について、「300 以上」が 18 件（45.0%）と最も多い。次いで「10 人未満」が 8 件（20.0%）、「100 人以上 200 人未満」が 6 件（15.0%）、「200 人以上 300 人未満」5 件（12.5%）、「10 人以上 30 人未満」2 件（5.0%）、「50 人以上 100 人未満」1 件（2.5%）の順になっている。100 人以上の看護職員を擁する施設等が 29 件（72.5%）。

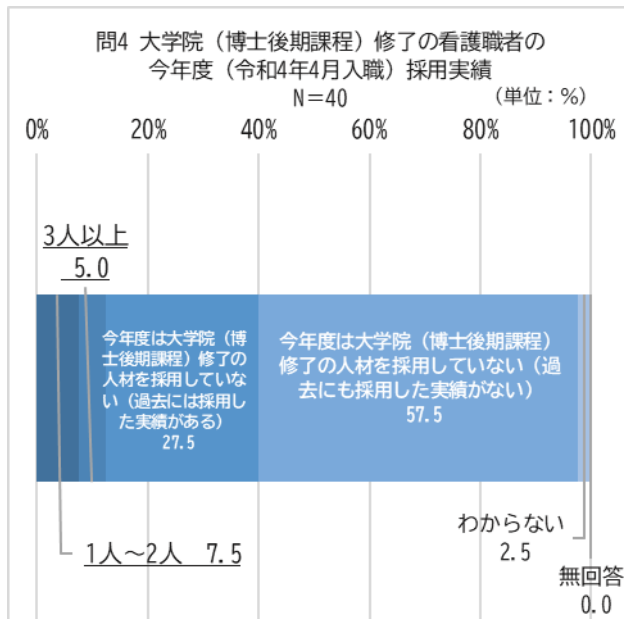


| | 件数 | % |
|----------------|----|------|
| 1 10人未満 | 8 | 20.0 |
| 2 10人以上30人未満 | 2 | 5.0 |
| 3 30人以上50人未満 | 0 | 0.0 |
| 4 50人以上100人未満 | 1 | 2.5 |
| 5 100人以上200人未満 | 6 | 15.0 |
| 6 200人以上300人未満 | 5 | 12.5 |
| 7 300人以上 | 18 | 45.0 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 40 | 100 |

(4) 大学院（博士後期課程）修了の看護職者の今年度（令和4年4月入職）採用実績

問4 貴施設では今年度（令和4年4月入職）に、大学院（博士後期課程）修了の看護職者を何人程度採用されましたか。その人数について、次の中から1つお選びください。

- 回答施設等（40件）の大学院（博士後期課程）修了の看護職者の今年度（令和4年4月入職）採用実績について、「今年度は大学院（博士後期課程）修了の人材を採用していない（過去にも採用した実績がない）」が23件（57.5%）と最も多く、次いで「今年度は大学院（博士後期課程）修了の人材を採用していない（過去には採用した実績がある）」が11件（27.5%）、「1人～2人」が3件（7.5%）、「3人以上」が2件（5.0%）、「わからない」1件（2.5%）の順になっている。今年度採用実績を有する施設等は5件（12.5%）。

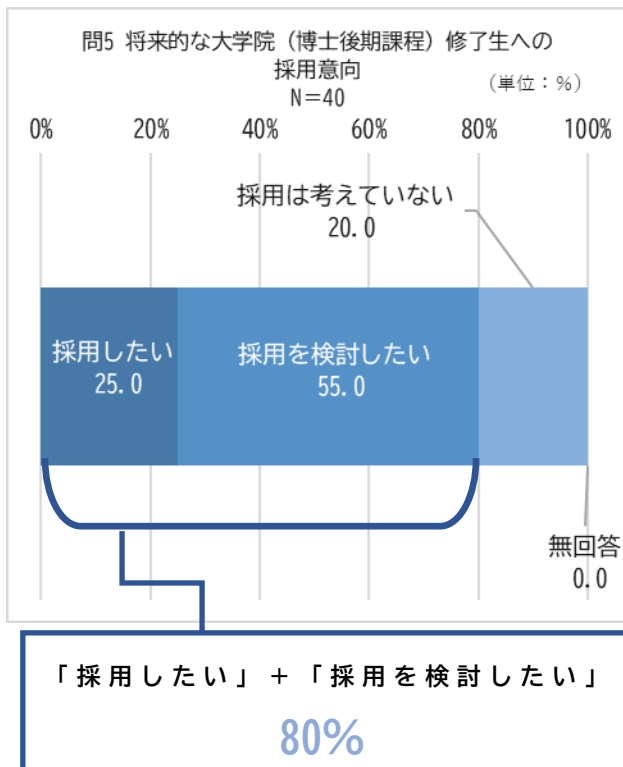


| | 件数 | % |
|---|----|------|
| 1 1人～2人 | 3 | 7.5 |
| 2 3人以上 | 2 | 5.0 |
| 3 今年度は大学院（博士後期課程）修了の人材を採用していない（過去には採用した実績がある） | 11 | 27.5 |
| 4 今年度は大学院（博士後期課程）修了の人材を採用していない（過去にも採用した実績がない） | 23 | 57.5 |
| 5 わからない | 1 | 2.5 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 40 | 100 |

(5) 将来的な大学院（博士後期課程）修了生への採用意向

問5 貴施設における将来的な大学院（博士後期課程）修了生への採用意向について、どのようにお考えですか。次の中から1つお選びください。

- 回答施設等（40 件）の将来的な大学院（博士後期課程）修了生への採用意向について、「採用を検討したい」が 22 件（55.0%）と最も多く、次いで「採用したい」10 件（25.0%）、「採用は考えていない」8 件（20.0%）の順になっている。
- 「採用したい」 + 「採用を検討したい」は 32 件（80%）。将来的な大学院（博士後期課程）修了生の採用について、肯定的な回答の割合は高い。

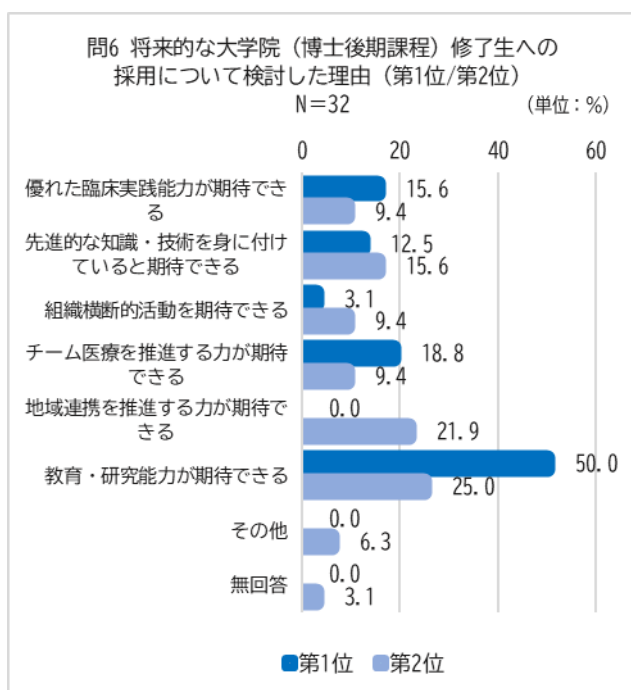


| | 件数 | % |
|-------------|----|------|
| 1 採用したい | 10 | 25.0 |
| 2 採用を検討したい | 22 | 55.0 |
| 3 採用は考えていない | 8 | 20.0 |
| 4 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 40 | 100 |

(6) 将来的な大学院（博士後期課程）修了生への採用について検討した理由

問6 問5で「採用したい」「採用を検討したい」と回答したのはどのような理由からですか。次の中から該当するものを第2位までお選びください。

■ 問5で将来的な大学院（博士後期課程）修了生への採用について、肯定的な考えを示した施設等（32件）のうち、将来的な大学院（博士後期課程）修了生への採用について検討した理由の第1位は「教育・研究能力が期待できるから」16件（50.0%）、「チーム医療を推進する力が期待できるから」6件（18.8%）、「優れた臨床実践能力が期待できる」5件（15.6%）が上位。第2位は「教育・研究能力が期待できる」8件（25.0%）、「地域連携を推進する力が期待できる」7件（21.9%）、「先進的な知識・技術を身に付けていると期待できる」5件（15.6%）が上位。



(「7 その他」の回答)

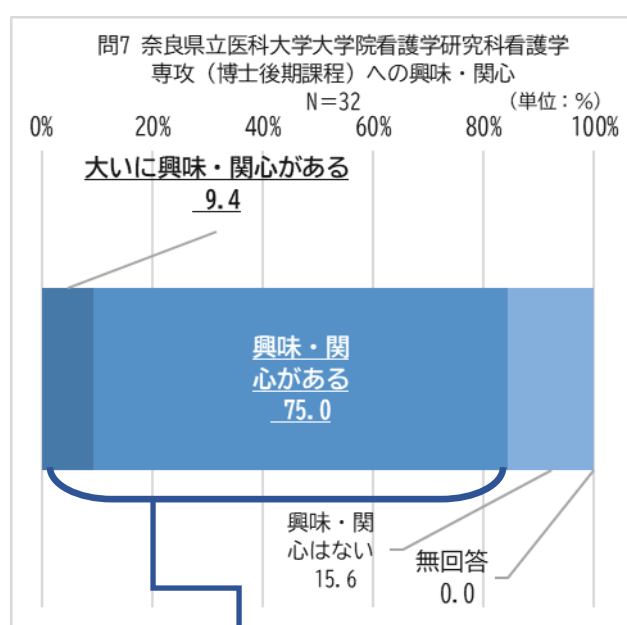
課題に対しクリティカルにとりくむ能力を期待。
課題や問題を解決する能力を期待。
専門的な知識を臨床実践や教育に活かせると期待できるから。

| | 第1位 | | 第2位 | |
|-------------------------|-----|------|-----|------|
| | 件数 | % | 件数 | % |
| 優れた臨床実践能力が期待できる | 5 | 15.6 | 3 | 9.4 |
| 先進的な知識・技術を身に付けていると期待できる | 4 | 12.5 | 5 | 15.6 |
| 組織横断的活動を期待できる | 1 | 3.1 | 3 | 9.4 |
| チーム医療を推進する力が期待できる | 6 | 18.8 | 3 | 9.4 |
| 地域連携を推進する力が期待できる | 0 | 0.0 | 7 | 21.9 |
| 教育・研究能力が期待できる | 16 | 50.0 | 8 | 25.0 |
| その他 | 0 | 0.0 | 2 | 6.3 |
| 無回答 | 0 | 0.0 | 1 | 3.1 |
| 合計 | 32 | 100 | 32 | 100 |

(7) 奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）への興味・関心
 問7 本学が設置予定の看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）について、どのよう
 にお考えですか。次の中から1つお選びください。

■ 本看護学専攻（博士後期課程）への興味・関心について、問5で将来的な大学院（博士後期課程）修了生への採用について、肯定的な考えを示した施設等（32件）のうち、「興味・関心がある」24件（75.0%）が最も多く、次いで「興味・関心はない」5件（15.6%）、「大いに興味・関心がある」3件（9.4%）の順になっている。

■ 本看護学専攻（博士後期課程）への興味・関心について、「大いに興味・関心がある」＋「興味・関心がある」は27件（84.4%）と高い。



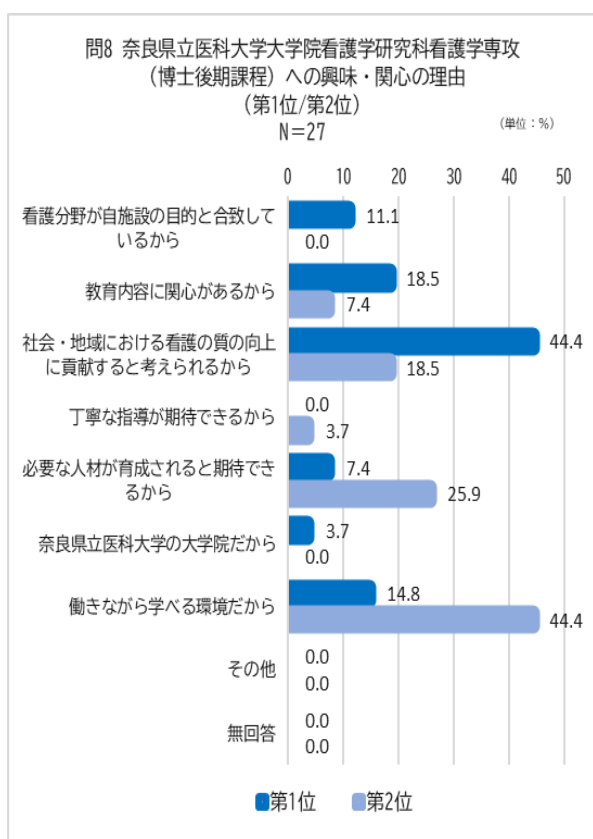
| | 件数 | % |
|---------------|----|------|
| 1 大いに興味・関心がある | 3 | 9.4 |
| 2 興味・関心がある | 24 | 75.0 |
| 3 興味・関心はない | 5 | 15.6 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 32 | 100 |

「大いに興味・関心がある」＋「興味・関心がある」
84.4%

(8) 奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）への興味・関心の理由

問8 問7で「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」を選択した理由を、次の中から第2位までお選びください。

- 問7で本看護学専攻（博士後期課程）への興味・関心を示した施設等（27件）のうち、本看護学専攻（博士後期課程）についての興味・関心の理由として、第1位は、「社会・地域における看護の質の向上に貢献すると考えられるから」12件（44.4%）、「教育内容に関心があるから」5件（18.5%）、「働きながら学べる環境だから」4件（14.8%）が上位。第2位は「働きながら学べる環境だから」12件（44.4%）、「必要な人材が育成されると期待できるから」7件（25.9%）、「社会・地域における看護の質の向上に貢献すると考えられるから」5件（18.5%）が上位。



(「8 その他」の回答)

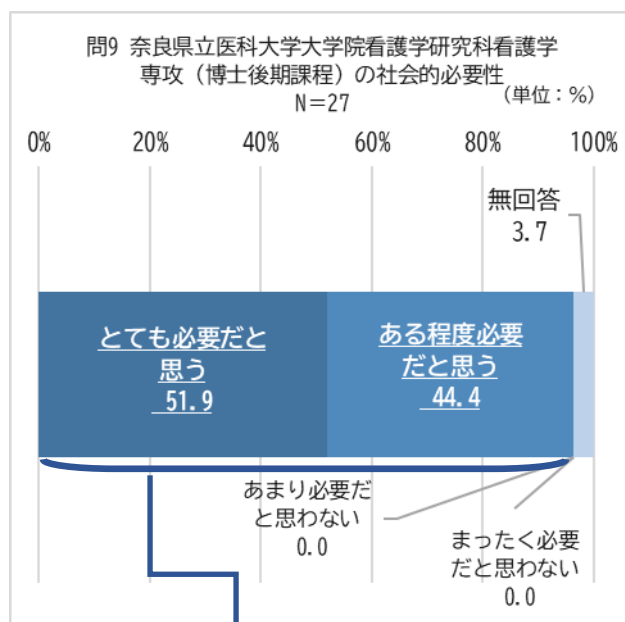
回答なし

| | 第1位 | | 第2位 | |
|---------------------------------|-----|------|-----|------|
| | 件数 | % | 件数 | % |
| 1 看護分野が自施設の目的と合致しているから | 3 | 11.1 | 0 | 0.0 |
| 2 教育内容に関心があるから | 5 | 18.5 | 2 | 7.4 |
| 3 社会・地域における看護の質の向上に貢献すると考えられるから | 12 | 44.4 | 5 | 18.5 |
| 4 丁寧な指導が期待できるから | 0 | 0.0 | 1 | 3.7 |
| 5 必要な人材が育成されると期待できるから | 2 | 7.4 | 7 | 25.9 |
| 6 奈良県立医科大学の大学院だから | 1 | 3.7 | 0 | 0.0 |
| 7 働きながら学べる環境だから | 4 | 14.8 | 12 | 44.4 |
| 8 その他 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 無回答 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 27 | 100 | 27 | 100 |

(9) 奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）の社会的必要性

問9 貴施設では、本学が設置予定の看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）の教育目的・概要を御覧になられて、これからの社会でどの程度必要だと思われますか。次の中から1つお選びください。

- 問7で本看護学専攻（博士後期課程）への興味・関心を示した施設等（27件）のうち、本看護学専攻（博士後期課程）の社会的必要性について、「とても必要だと思う」が14件（51.9%）と最も多く、「ある程度必要だと思う」が12件（44.4%）。「無回答」1件（3.7%）を除いた26件（96.3%）が本看護学専攻（博士後期課程）の社会的必要性について、肯定的な回答。



| | 件数 | % |
|----------------|----|------|
| 1 とても必要だと思う | 14 | 51.9 |
| 2 ある程度必要だと思う | 12 | 44.4 |
| 3 あまり必要だと思わない | 0 | 0.0 |
| 4 まったく必要だと思わない | 0 | 0.0 |
| 無回答 | 1 | 3.7 |
| 合計 | 27 | 100 |

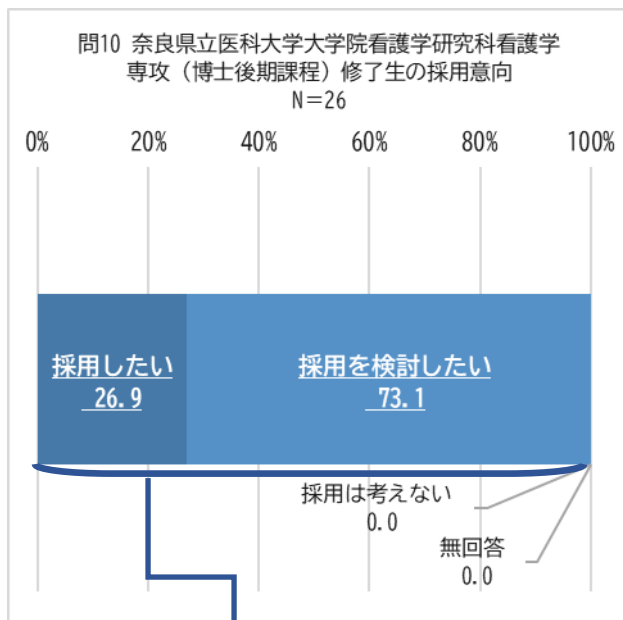
「とても必要だと思う」 + 「ある程度必要だと思う」

96.3%

(10) 奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）修了生の採用意向
 問10 本学が設置予定の看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）修了生の採用意向
 について、次の中から1つお選びください。

■ 問9で本看護学専攻（博士後期課程）の社会的必要性について、肯定的な回答を示した施設等（26件）のうち、本看護学専攻（博士後期課程）の修了生の採用意向について、「採用を検討したい」が19件（73.1%）と最も多く、「採用したい」が7件（26.9%）、「採用は考えない」が0件（0.0%）。

■ 「採用したい」＋「採用を検討したい」の肯定的な回答は26件（100%）。

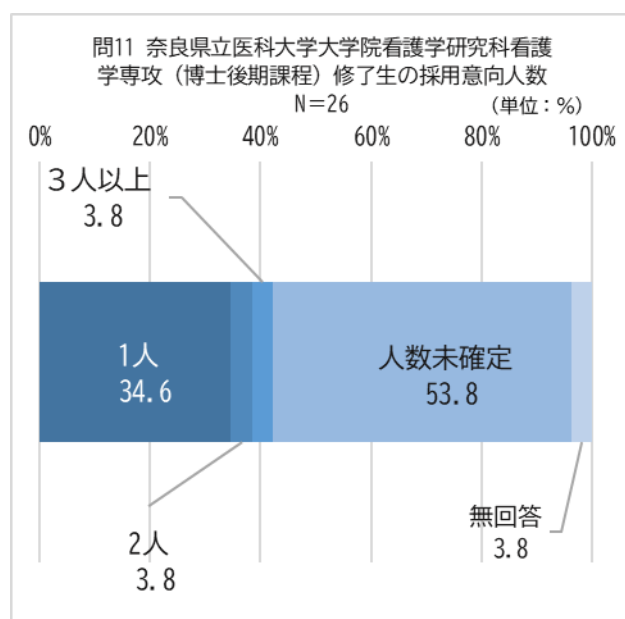


| | 件数 | % |
|------------|----|------|
| 1 採用したい | 7 | 26.9 |
| 2 採用を検討したい | 19 | 73.1 |
| 3 採用は考えない | 0 | 0.0 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 26 | 100 |

「採用したい」＋「採用を検討したい」
100%

(11) 奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）の採用意向人数
 問11 問10で「採用したい」「採用を検討したい」を選択された施設におたずねします。
 貴施設では将来、奈良県立医科大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）
 の修了生を毎年何人程度採用したいとお考えですか。次の中から1つお選びください。

- 問10で本看護学専攻（博士後期課程）修了生の採用意向について、肯定的な採用意向を示した施設等（26件）の将来的な採用人数について、「人数未確定」が14件（53.8%）と最も多く、次いで「1人」9件（34.6%）、「2人」、「3人以上」がそれぞれ1件（3.8%）の順になっている。※無回答1件（3.8%）。

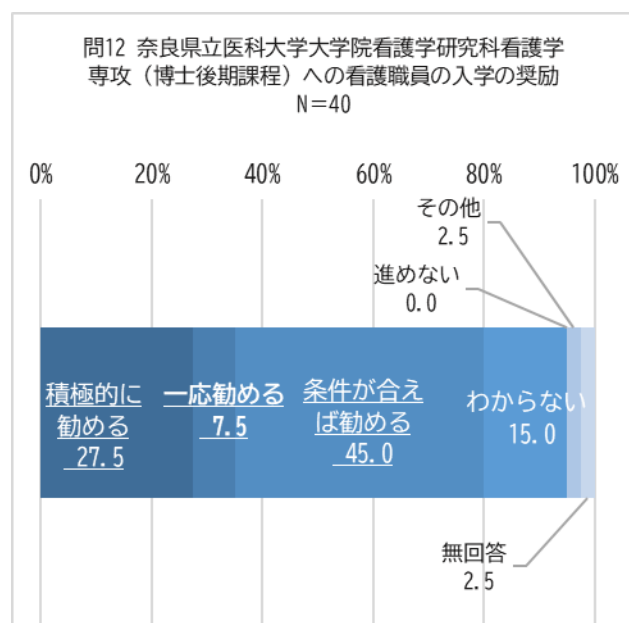


| | 件数 | % |
|---------|----|------|
| 1 1人 | 9 | 34.6 |
| 2 2人 | 1 | 3.8 |
| 3 3人以上 | 1 | 3.8 |
| 4 人数未確定 | 14 | 53.8 |
| 無回答 | 1 | 3.8 |
| 合計 | 26 | 100 |

(12) 奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）への看護職員の入学の奨励

問 12 貴施設では、仮に現役 of 看護職員から本学が設置予定の看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）で学びたいと申し入れがあった場合（学費は職員の自己負担として）、入学を勧めますか。次の中から1つお選びください。

- 回答施設等（40 件）のうち、現役 of 看護職員の本看護学専攻（博士後期課程）への入学の奨励について、「条件が合えば勧める」が 18 件（45.0%）と最も多い。次いで、「積極的に勧める」が 11 件（27.5%）、「わからない」が 6 件（15.0%）、「一応勧める」が 3 件（7.5%）、「その他」が 1 件（2.5%）の順になっている。※無回答 1 件（2.5%）。



| | 件数 | % |
|-------------|----|------|
| 1 積極的に勧める | 11 | 27.5 |
| 2 一応勧める | 3 | 7.5 |
| 3 条件が合えば勧める | 18 | 45.0 |
| 4 わからない | 6 | 15.0 |
| 5 勧めない | 0 | 0.0 |
| 6 その他 | 1 | 2.5 |
| 無回答 | 1 | 2.5 |
| 合計 | 40 | 100 |

（「6 その他」の回答）

本人に一任している。

(13) 調査結果のまとめ

- 本看護学専攻（博士後期課程）修了生の採用意向人数については、本看護学専攻（博士後期課程）修了生の採用意向と将来的な採用意向人数の各選択肢（「1人」、「2人」、「3人以上」、「人数未確定」）を乗じ、これを合計、算出。その結果、「採用したい」7件のみの場合、本看護学専攻（博士後期課程）修了生の採用意向人数は10人（7施設）。本看護学専攻（博士後期課程）の入学定員2名対して、5倍の採用意向人数を確保。

【表1：クロス集計・分析結果】

問10 奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）修了生の採用意向 ×

問11 奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）修了生の採用意向人数

| 上段:件数 下段:% | | 問11 採用意向人数 | | | | |
|---------------|----------|------------|------|------|------|-------|
| | | 合計 | 1人 | 2人 | 3人以上 | 人数未確定 |
| 問10 修了生の採用意向 | 全体 | 25 | 9 | 1 | 1 | 14 |
| | | 100.0 | 36.0 | 4.0 | 4.0 | 56.0 |
| | 採用したい | 7 | 3 | 1 | 1 | 2 |
| | | 100.0 | 42.9 | 14.3 | 14.3 | 28.6 |
| | 採用を検討したい | 18 | 6 | - | - | 12 |
| | | 100.0 | 33.3 | - | - | 66.7 |
| | 採用は考えない | - | - | - | - | - |
| | | - | - | - | - | - |

※1 「3人以上」とは、最低数である「3人」として計算。

※2 「人数未確定」とは、問10で「採用したい」、「採用を検討したい」と回答し、将来的な採用意向は示すが、アンケート時点では将来的な採用人数について確定していないものである。したがって本調査では「人数未確定」の将来的な採用人数＝「1人」として計算。

※3 問10で「採用を検討したい」と回答した施設は19施設。問11において、そのうち、1施設が無回答のため、表中には表記していない。

「採用したい」7件のみで合計した場合

$$(1人 \times 3施設) + (2人 \times 1施設) + (3人 \times 1施設) + (1人 \times 2施設) = 10人 (7施設)$$

- 加えて、【表1：クロス集計・分析結果】において、「採用を検討したい」と回答した採用意向人数は18人分が示され、本看護学専攻（博士後期課程）修了生の採用に対する可能性は高いと言えること、調査対象以外の医療機関等での採用も想定されること、大学等教育研究機関での博士学位取得者の需要が大きく継続的な採用も想定されることから、奈良県立医科大学大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）（仮称）の養成する人材への社会的ニーズと採用ニーズは大きいと考えられ、本看護学専攻（博士後期課程）修了生の進路は十分に確保できることが見込まれる。

問 13 奈良県立医科大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）の設置計画について、ご意見・ご要望をお聞かせください。その他、大学の教育内容・活動等についてご希望がございましたら、あわせてご記入ください。

| 自由回答意見 |
|--|
| ご期待しています。 |
| 看護師を育てる看護者(看護教育学)を設置してほしいです。 |
| 奈良県内にぜひぜひ「博士後期課程」を設置して頂きたい。 |
| 奈良で活躍する人材育成を望みます。 |
| キャリアの分岐点で働きながら学習をすすめられる場が奈良にあることはすすめられると思います。奈良看護の質向上にも寄与することです。 |
| 在宅看護の現場はコロナの影響 社会的に高齢化や独居老人の現状から、研究材料は多々あるにも関わらず、なかなか看護学を極めて研究に勤しむ時間が無いのが現状です。大学院で学び、高度な専門知識を持ち合わせたスタッフが活躍し、研究テーマを見つけて、今後の看護の発展に寄与していただけるよう、願っております。 |
| 出願資格に臨床経験年数や職務経験を設けていただいた方がよいと思います。 |
| 問 6 の理由は、設置する専門分野によるところがあります。看護管理はどの分野であっても内容的に学習してほしいところです。実践力、実践の根拠となるセオリーや理論、成果→研究や教育。コミュニケーションをとりチーム力の向上につなげる。質を管理する点を管理者とコラボする必要があるかと思います。 |

アンケート 調査票

奈良県立医科大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）の
設置に係るアンケート調査

- ・奈良県立医科大学では、令和6年（2024年）4月を目途に大学院看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）の設置を計画しています。このアンケート調査は設置計画の基礎資料とするため、貴施設の採用状況・意向等についてお伺いするものです。ご協力をお願いします。
 - ・このアンケートの結果は、統計資料としてのみ用い、目的以外に利用することはありません。
 - ・回答は、該当する番号を回答欄の□の中へ直接ご記入ください。
- *内容は構想中であり、変更となる場合がございます。

★調査回答締め切りのお願い★

令和5年2月3日（金）までに、同封の返信用封筒にてご投函頂きますようお願いいたします

問1 貴施設の種類について、次の中から該当する番号を 1 つお選びください。 【回答欄】

- | | | |
|--------------|---------------|---|
| 1 病院 | 4 介護保険関連施設 | □ |
| 2 クリニック | 5 その他（具体的に:) | |
| 3 訪問看護ステーション | | |

問2-1 貴施設の所在地について、次の中から該当する番号を 1 つお選びください。

- | | | |
|-------|-------|---|
| 1 奈良県 | 5 滋賀県 | □ |
| 2 京都府 | 6 三重県 | |
| 3 大阪府 | 7 その他 | |
| 4 兵庫県 | () | |
- 1 を選択された方は問 2-2 へお進みください。
2~7 を選択された方は問3へお進みください。

問2-2 問 2-1 の貴施設の所在地において、1 奈良県を選択された方は県内の市町村郡の番号を 1 つお選びください。

- | | | | |
|---------|--------|---------|---|
| 1 奈良市 | 7 生駒市 | 13 北葛城郡 | □ |
| 2 大和高田市 | 8 香芝市 | 14 吉野郡 | |
| 3 大和郡山市 | 9 葛城市 | 15 その他 | |
| 4 天理市 | 10 宇陀市 | () | |
| 5 橿原市 | 11 生駒郡 | | |
| 6 桜井市 | 12 磯城郡 | | |

問3 貴施設（施設全体）における看護職員数について、次の中から該当する番号を 1 つお選びください。

- | | | |
|------------------|-------------------|---|
| 1 10 人未満 | 5 100 人以上 200 人未満 | □ |
| 2 10 人以上 30 人未満 | 6 200 人以上 300 人未満 | |
| 3 30 人以上 50 人未満 | 7 300 人以上 | |
| 4 50 人以上 100 人未満 | | |

問4 貴施設では今年度（令和4年4月入職）に、大学院（博士後期課程）修了の看護職者を何人程度採用されましたか。その人数について、次の中から 1つお選びください。

- 1 1人～2人
- 2 3人以上
- 3 今年度は大学院（博士後期課程）修了の人材を採用していない
（過去には採用した実績がある）
- 4 今年度は大学院（博士後期課程）修了の人材を採用していない
（過去にも採用した実績がない）
- 5 わからない

問5 貴施設における将来的な大学院（博士後期課程）修了生の採用意向について、どのようにお考えですか。次の中から 1つお選びください。

- 1 採用したい
- 2 採用を検討したい
- 3 採用は考えていない

1、2 を選択された方は問 6 へお進みください。
3 を選択された方は問 12 へお進みください。

問6 問5で「採用したい」「採用を検討したい」と回答したのはどのような理由からですか。次の中から該当するものを 第2位までお選びください。

- 1 優れた臨床実践能力が期待できる
- 2 先進的な知識・技術を身につけていると期待できる
- 3 組織横断的活動を期待できる
- 4 チーム医療を推進する力が期待できる
- 5 地域連携を推進する力が期待できる
- 6 教育・研究能力が期待できる
- 7 その他（具体的に:

第1位

第2位

)

ここからは、奈良県立医科大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）の概要資料（リーフレット）をご覧ください

[奈良県立医科大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）について]

問7 本学が設置予定の看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）について、どのよう
にお考えですか。次の中から 1つお選びください。

- 1 大いに興味・関心がある
- 2 興味・関心がある
- 3 興味・関心はない

1、2 を選択された方は問 8 へお進みください。
3 を選択された方は問 12 へお進みください。

問8 問7で「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」を選択した理由を、次の中から
第2位までお選びください。

- 1 看護分野が自施設の目的と合致しているから
- 2 教育内容に関心があるから
- 3 社会・地域における看護の質の向上に貢献すると考えるから
- 4 丁寧な指導が期待できるから
- 5 必要な人材が育成されると期待できるから
- 6 奈良県立医科大学の大学院だから
- 7 働きながら学べる環境だから
- 8 その他（具体的に:

第1位

第2位

)

問9 貴施設では、本学が設置予定の看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）の教育目
的・概要を御覧になられて、これからの社会でどの程度必要だと思われますか。次の中から
1つお選びください。

- 1 とても必要だと思う
- 2 ある程度必要だと思う
- 3 あまり必要だと思わない
- 4 まったく必要だと思わない

1、2 を選択された方は問 10 へお進みください。
3、4 を選択された方は問 12 へお進みください。

裏面へお進みください

問10 本学が設置予定の看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）修了生の採用意向について、次の中から 1つお選びください。

- 1 採用したい
- 2 採用を検討したい
- 3 採用は考えない

1、2 を選択された方は問 11 へお進みください。
3 を選択された方は問 12 へお進みください。

問11 問10で「採用したい」「採用を検討したい」を選択された施設におたずねします。貴施設では将来、奈良県立医科大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）の修了生を毎年何人程度採用したいとお考えですか。次の中から 1つお選びください。

- 1 1人
- 2 2人
- 3 3人以上
- 4 人数未確定

番号でご回答ください

[奈良県立医科大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）への看護職員の入学について]

問12 貴施設では、仮に現役の看護職員から本学が設置予定の看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）で学びたいと申し入れがあった場合（学費は職員の自己負担として）、入学を勧めますか。次の中から 1つお選びください。

- 1 積極的に勧める
- 2 一応勧める
- 3 条件が合えば勧める
- 4 わからない
- 5 勧めない
- 6 その他（具体的に：

問13 奈良県立医科大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）の設置計画について、ご意見・ご要望をお聞かせください。その他、大学の教育内容・活動等についてご希望がございましたら、あわせてご記入ください。

◆◇ アンケートは以上となります。最後までご協力いただきありがとうございました ◇◆

奈良県立医科大学教育支援課 TEL：0744-22-3051（内線 2218）

計 画 概 要



奈良県立医科大学大学院

看護学研究科看護学専攻 博士後期課程（仮称）

入学定員：2名予定（収容定員6名）
取得学位：博士（看護学）

令和6年
4月
設置予定

教育目的

- 1 優秀かつ柔軟な資質を併せもち、生涯にわたって自ら学び、看護学の発展を牽引できる人材を育成する。
- 2 深い専門知識や技能を持って、国際的視野から幅広く看護学を探究できる研究者・教育者を育成する。
- 3 人間性豊かな高い倫理観に基づいた高度な看護実践能力と創造的な研究能力をもって地域・社会に展開できる人材を育成する。

研究科の概要

- 生涯発達看護分野：健康科学(心と脳の発達学)、小児看護学、女性健康・助産学、老年看護学
精神看護学、公衆衛生看護学
- 療養・生活支援看護分野：健康科学(睡眠科学)、基礎看護学、看護実践応用学、がん看護学、在宅看護学

出願資格

次の各号のいずれかに該当する者、又は次の各号のいずれかについて入学前年度までに該当する見込みの者で、看護師、保健師、助産師いずれかの免許を有する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有する者として当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (6) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で24歳に達する者

修了要件

博士後期課程に3年以上在籍し、授業科目について、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること

社会人に対する配慮

夜間や必要に応じて集中講義を開講、また、修学年限を延長する長期履修制度を導入し、在職のまま学ぶことができるように配慮する

想定される卒業後の進路

- ・ 看護系大学や研究機関に教育者・研究者として勤務
- ・ 医療機関、行政機関、保健所、訪問看護ステーション等に高度な専門知識をもつ看護職者として勤務

学生納付金

入 学 料：282,000円
授 業 料：535,800円（年額）
初年度合計：817,800円

<入学料の免除要件について>

ア 本学修士課程を修了し、本課程に進学する者

イ 大学院修士課程を修了した者又は修了見込みの者で、本人が入学の日の1年前から引き続き県内に住所を有する者で、経済的支援を必要とする者

競合する大学院・研究科等の名称

| 所在地 | 大学院名 | 研究科名（専攻名） | 入学定員 |
|------|--------------|-------------------|------|
| 大阪府 | 大阪大学大学院 | 医学系研究科（保健学専攻） | 23 |
| | 大阪公立大学大学院 | 看護学研究科（看護学専攻） | 10 |
| | 関西医科大学大学院 | 看護学研究科（看護学専攻） | 5 |
| 京都府 | 京都大学大学院 | 医学研究科（人間健康科学系専攻） | 25 |
| | 京都府立医科大学大学院 | 保健看護学研究科（保健看護学専攻） | 3 |
| | 同志社女子大学大学院 | 看護学研究科（看護学専攻） | 3 |
| 和歌山県 | 和歌山県立医科大学大学院 | 保健看護学研究科（保健看護学専攻） | 3 |
| 兵庫県 | 神戸大学大学院 | 保健学研究科（保健学専攻） | 25 |
| | 神戸市看護大学 | 看護学研究科（看護学専攻） | 3 |
| | 兵庫県立大学大学院 | 看護学研究科（看護学専攻） | 12 |

アクセス

現キャンパス：奈良県橿原市四条町840番地

新キャンパス：奈良県橿原市四条町地内
（令和7年度開設予定）



お問い合わせ

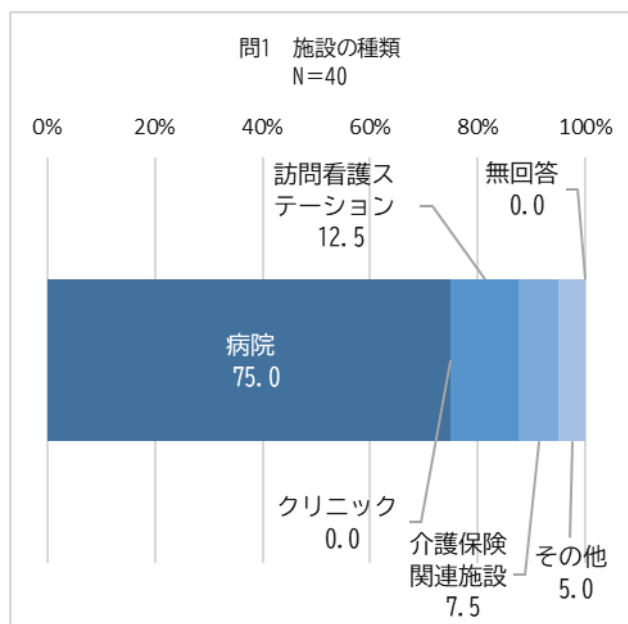
〒634-8521 奈良県橿原市四条町840番地

奈良県立医科大学 教育支援課

TEL 0744-22-3051 / Email gakuseik@narmed-u.ac.jp

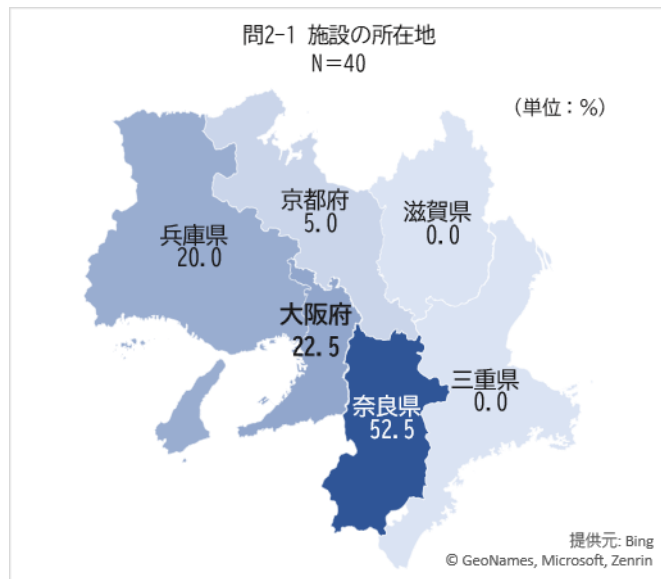
單純集計表

問1 貴施設の種類について、次の中から該当する番号を1つお選びください。



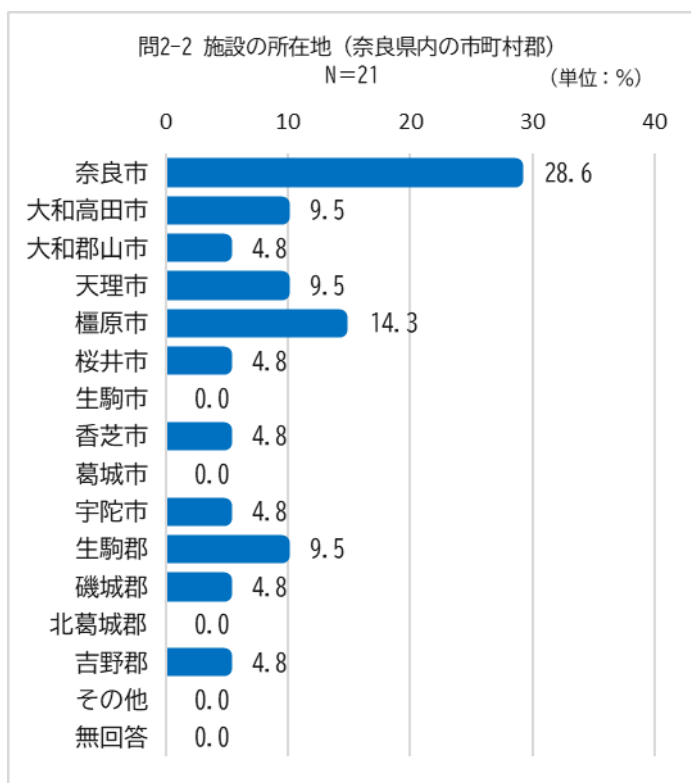
| | 件数 | % |
|--------------|----|------|
| 1 病院 | 30 | 75.0 |
| 2 クリニック | 0 | 0.0 |
| 3 訪問看護ステーション | 5 | 12.5 |
| 4 介護保険関連施設 | 3 | 7.5 |
| 5 その他 | 2 | 5.0 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 40 | 100 |

問2-1 貴施設の所在地について、次の中から該当する番号を1つお選びください。



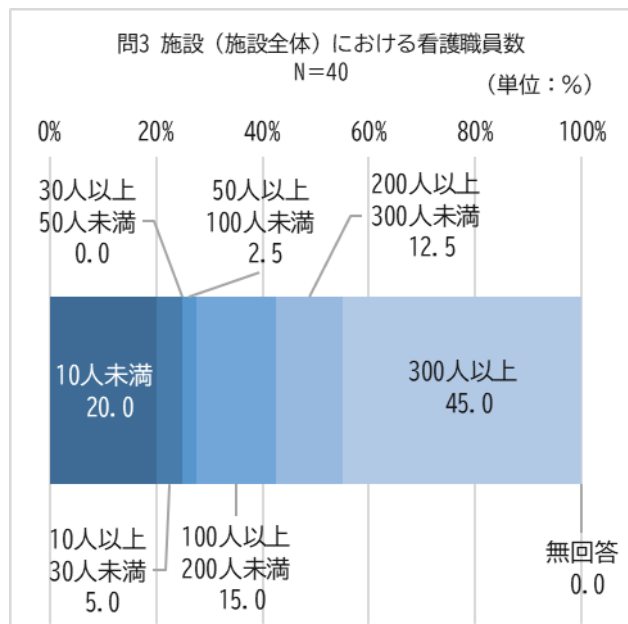
| | 件数 | % |
|-------|----|------|
| 1 奈良県 | 21 | 52.5 |
| 2 京都府 | 2 | 5.0 |
| 3 大阪府 | 9 | 22.5 |
| 4 兵庫県 | 8 | 20.0 |
| 5 滋賀県 | 0 | 0.0 |
| 6 三重県 | 0 | 0.0 |
| 7 その他 | 0 | 0.0 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 40 | 100 |

問2-2 問2-1の貴施設の所在地において、1 奈良県を選択された方は県内の市町村郡の番号を1つお選びください。



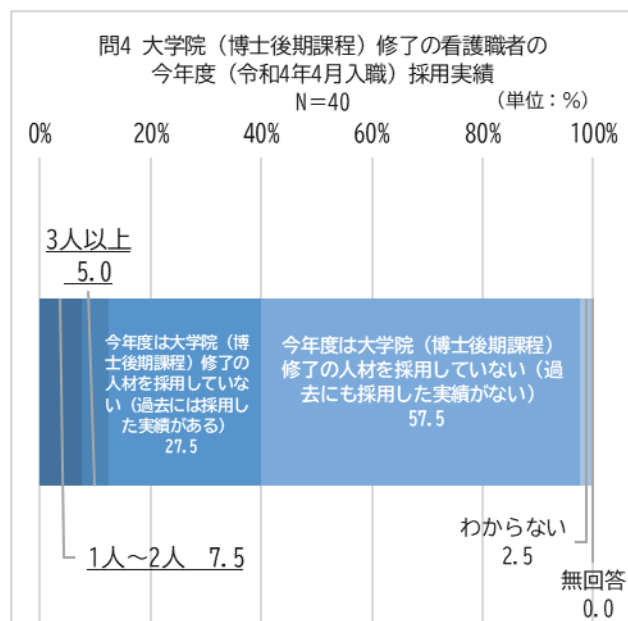
| | 件数 | % |
|---------|----|------|
| 1 奈良市 | 6 | 28.6 |
| 2 大和高田市 | 2 | 9.5 |
| 3 大和郡山市 | 1 | 4.8 |
| 4 天理市 | 2 | 9.5 |
| 5 橿原市 | 3 | 14.3 |
| 6 桜井市 | 1 | 4.8 |
| 7 生駒市 | 0 | 0.0 |
| 8 香芝市 | 1 | 4.8 |
| 9 葛城市 | 0 | 0.0 |
| 10 宇陀市 | 1 | 4.8 |
| 11 生駒郡 | 2 | 9.5 |
| 12 磯城郡 | 1 | 4.8 |
| 13 北葛城郡 | 0 | 0.0 |
| 14 吉野郡 | 1 | 4.8 |
| 15 その他 | 0 | 0.0 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 21 | 100 |

問3 貴施設（施設全体）における看護職員数について、次の中から該当する番号を1つお選びください。



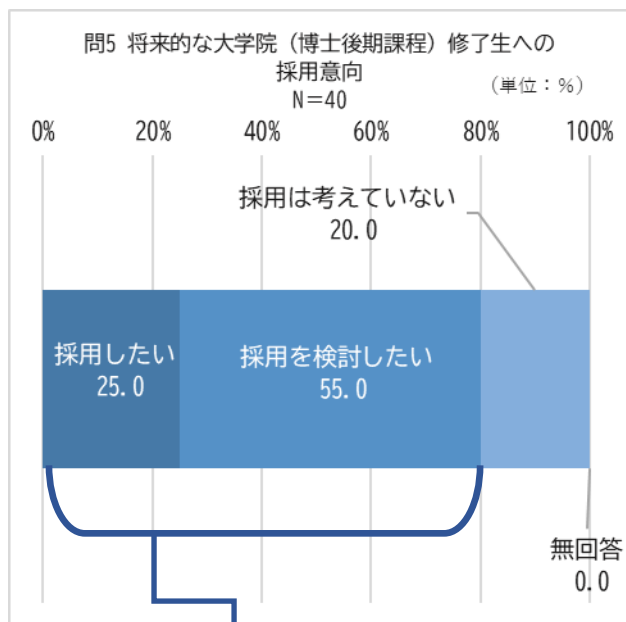
| | 件数 | % |
|-----------------|----|------|
| 1 10人未満 | 8 | 20.0 |
| 2 10人以上 30人未満 | 2 | 5.0 |
| 3 30人以上 50人未満 | 0 | 0.0 |
| 4 50人以上 100人未満 | 1 | 2.5 |
| 5 100人以上 200人未満 | 6 | 15.0 |
| 6 200人以上 300人未満 | 5 | 12.5 |
| 7 300人以上 | 18 | 45.0 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 40 | 100 |

問4 貴施設では今年度（令和4年4月入職）に、大学院（博士後期課程）修了の看護職者を何人程度採用されましたか。その人数について、次の中から1つお選びください。



| | 件数 | % |
|---|----|------|
| 1 1人~2人 | 3 | 7.5 |
| 2 3人以上 | 2 | 5.0 |
| 3 今年度は大学院（博士後期課程）修了の人材を採用していない（過去には採用した実績がある） | 11 | 27.5 |
| 4 今年度は大学院（博士後期課程）修了の人材を採用していない（過去にも採用した実績がない） | 23 | 57.5 |
| 5 わからない | 1 | 2.5 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 40 | 100 |

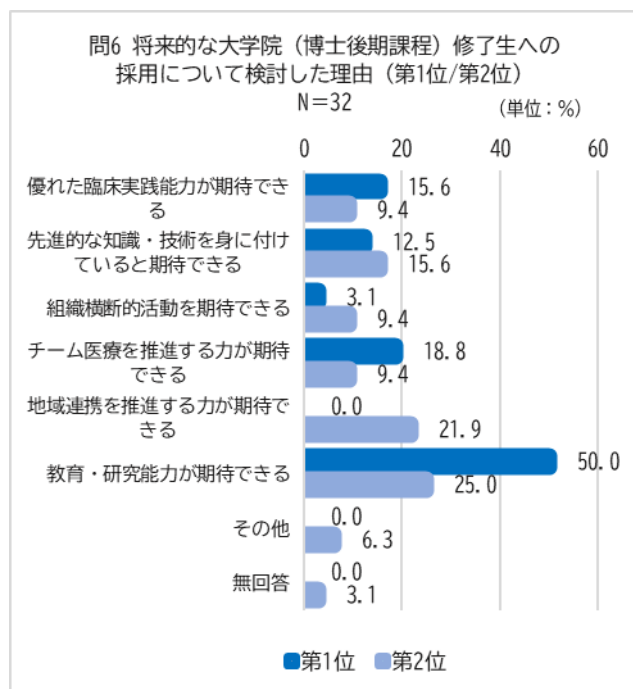
問5 貴施設における将来的な大学院（博士後期課程）修了生への採用意向について、どのようにお考えですか。次の中から1つお選びください。



| | 件数 | % |
|-------------|----|------|
| 1 採用したい | 10 | 25.0 |
| 2 採用を検討したい | 22 | 55.0 |
| 3 採用は考えていない | 8 | 20.0 |
| 4 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 40 | 100 |

「採用したい」 + 「採用を検討したい」
80%

問6 問5で「採用したい」「採用を検討したい」と回答したのはどのような理由からですか。
次の中から該当するものを第2位までお選びください。

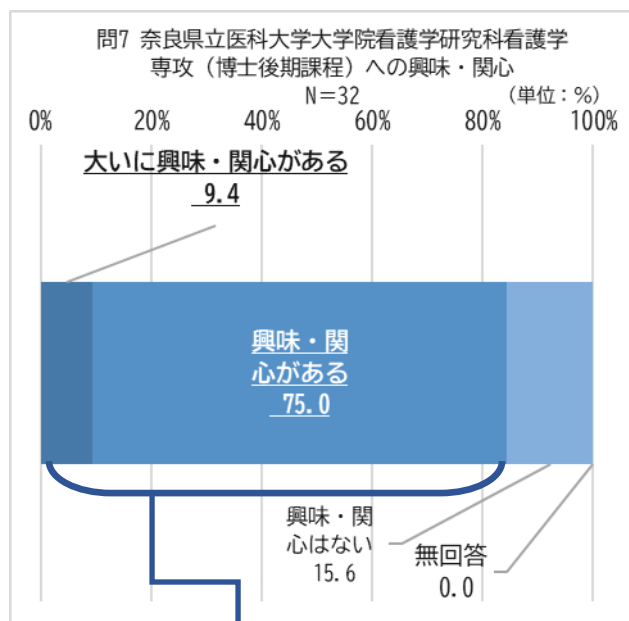


(「7 その他」の回答)

| |
|------------------------------|
| 課題に対しクリティカルにとりくむ能力を期待。 |
| 課題や問題を解決する能力を期待。 |
| 専門的な知識を臨床実践や教育に活かせると期待できるから。 |

| | 第1位 | | 第2位 | |
|---------------------------|-----|------|-----|------|
| | 件数 | % | 件数 | % |
| 1 優れた臨床実践能力が期待できる | 5 | 15.6 | 3 | 9.4 |
| 2 先進的な知識・技術を身に付けていると期待できる | 4 | 12.5 | 5 | 15.6 |
| 3 組織横断的活動を期待できる | 1 | 3.1 | 3 | 9.4 |
| 4 チーム医療を推進する力が期待できる | 6 | 18.8 | 3 | 9.4 |
| 5 地域連携を推進する力が期待できる | 0 | 0.0 | 7 | 21.9 |
| 6 教育・研究能力が期待できる | 16 | 50.0 | 8 | 25.0 |
| 7 その他 | 0 | 0.0 | 2 | 6.3 |
| 無回答 | 0 | 0.0 | 1 | 3.1 |
| 合計 | 32 | 100 | 32 | 100 |

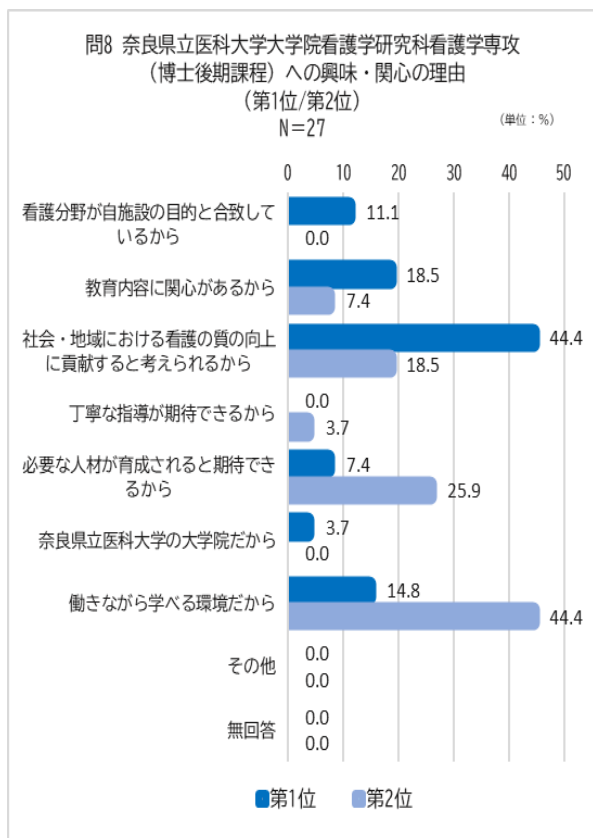
問7 本学が設置予定の看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）について、どのよう
にお考えですか。次の中から1つお選びください。



| | 件数 | % |
|---------------|----|------|
| 1 大いに興味・関心がある | 3 | 9.4 |
| 2 興味・関心がある | 24 | 75.0 |
| 3 興味・関心はない | 5 | 15.6 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 32 | 100 |

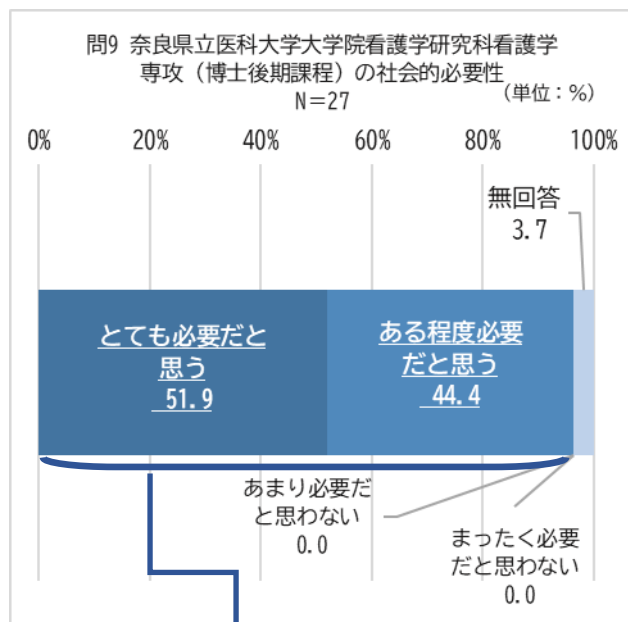
「大いに興味・関心がある」 + 「興味・関心がある」
84.4%

問8 問7で「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」を選択した理由を、次の中から第2位までお選びください。



| | 第1位 | | 第2位 | |
|---------------------------------|-----|------|-----|------|
| | 件数 | % | 件数 | % |
| 1 看護分野が自施設の目的と合致しているから | 3 | 11.1 | 0 | 0.0 |
| 2 教育内容に関心があるから | 5 | 18.5 | 2 | 7.4 |
| 3 社会・地域における看護の質の向上に貢献すると考えられるから | 12 | 44.4 | 5 | 18.5 |
| 4 丁寧な指導が期待できるから | 0 | 0.0 | 1 | 3.7 |
| 5 必要な人材が育成されると期待できるから | 2 | 7.4 | 7 | 25.9 |
| 6 奈良県立医科大学の大学院だから | 1 | 3.7 | 0 | 0.0 |
| 7 働きながら学べる環境だから | 4 | 14.8 | 12 | 44.4 |
| 8 その他 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 無回答 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 27 | 100 | 27 | 100 |

問9 貴施設では、本学が設置予定の看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）の教育目的・概要を御覧になられて、これからの社会でどの程度必要だと思われますか。次の中から1つお選びください。

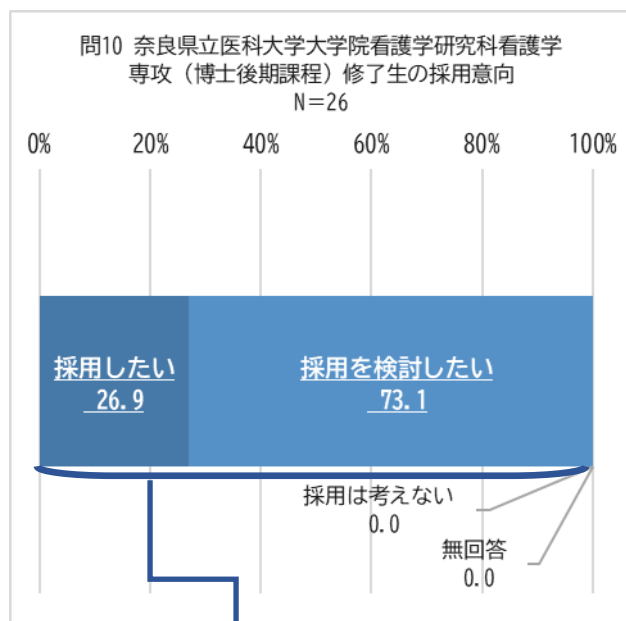


| | 件数 | % |
|----------------|----|------|
| 1 とても必要だと思う | 14 | 51.9 |
| 2 ある程度必要だと思う | 12 | 44.4 |
| 3 あまり必要だと思わない | 0 | 0.0 |
| 4 まったく必要だと思わない | 0 | 0.0 |
| 無回答 | 1 | 3.7 |
| 合計 | 27 | 100 |

「とても必要だと思う」 + 「ある程度必要だと思う」

96.3%

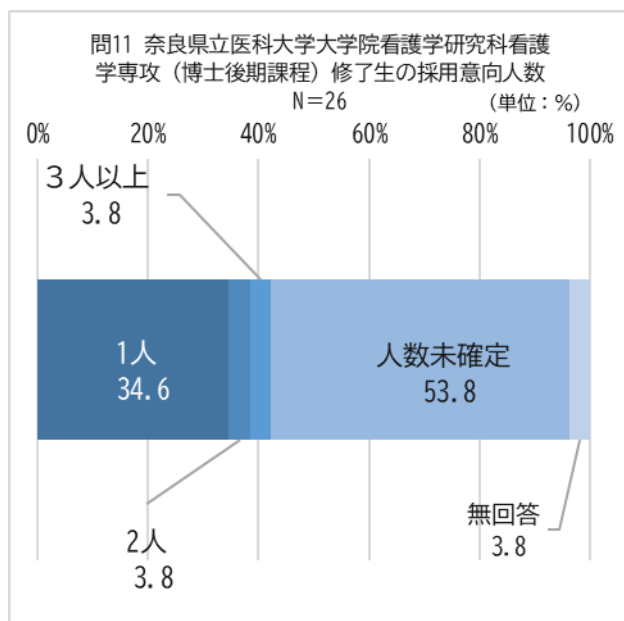
問10 本学が設置予定の看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）修了生の採用意向
 について、次の中から1つお選びください。



| | 件数 | % |
|------------|----|------|
| 1 採用したい | 7 | 26.9 |
| 2 採用を検討したい | 19 | 73.1 |
| 3 採用は考えない | 0 | 0.0 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 26 | 100 |

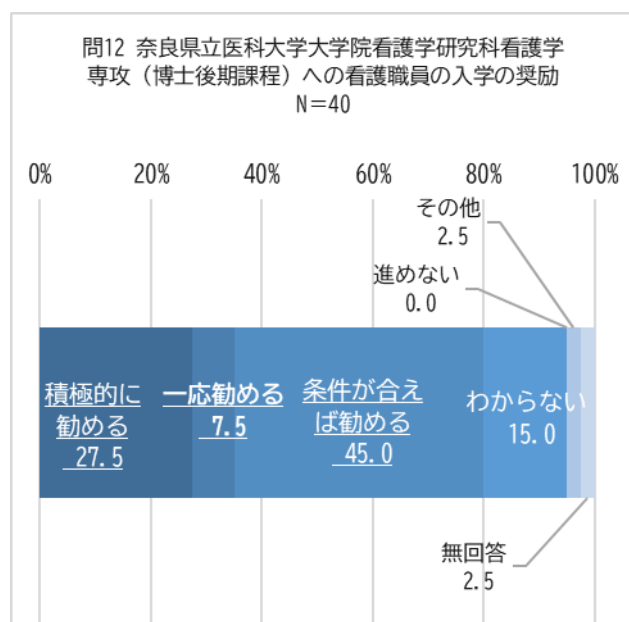
「採用したい」 + 「採用を検討したい」
100%

問11 問10で「採用したい」「採用を検討したい」を選択された施設におたずねします。貴施設では将来、奈良県立医科大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）の修了生を毎年何人程度採用したいとお考えですか。次の中から1つお選びください。



| | 件数 | % |
|---------|----|------|
| 1 1人 | 9 | 34.6 |
| 2 2人 | 1 | 3.8 |
| 3 3人以上 | 1 | 3.8 |
| 4 人数未確定 | 14 | 53.8 |
| 無回答 | 1 | 3.8 |
| 合計 | 26 | 100 |

問12 貴施設では、仮に現役の看護職員から本学が設置予定の看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程）（仮称）で学びたいと申し入れがあった場合（学費は職員の自己負担として）、入学を勧めますか。次の中から1つお選びください。



| | 件数 | % |
|-------------|----|------|
| 1 積極的に勧める | 11 | 27.5 |
| 2 一応勧める | 3 | 7.5 |
| 3 条件が合えば勧める | 18 | 45.0 |
| 4 わからない | 6 | 15.0 |
| 5 勧めない | 0 | 0.0 |
| 6 その他 | 1 | 2.5 |
| 無回答 | 1 | 2.5 |
| 合計 | 40 | 100 |